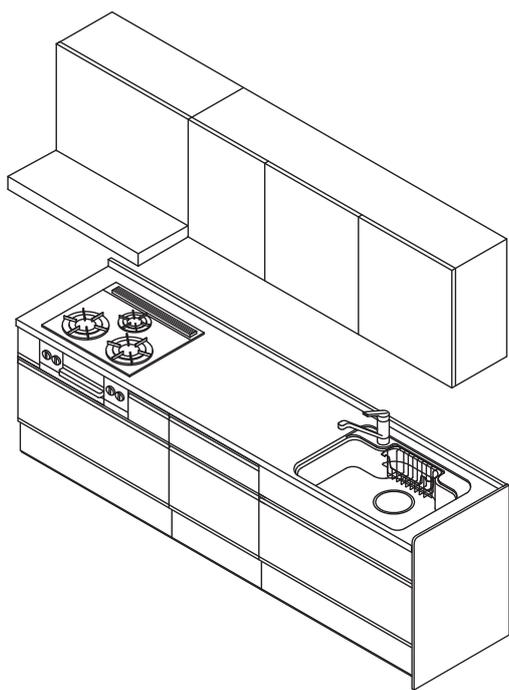


システムキッチン
取扱説明書 保証書付

rakuera
ラクエラ



このたびは、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。

ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。

ご使用の前に	2
- もくじ	3
安全上の注意	6
キッチン全体の使い方	16
調理アイテムの使い方	18
収納アイテムの使い方	
- キャビネット	28
- 吊戸棚	46
- キッチン周辺収納	49
その他部材	54
アクセサリパーツのご案内	57
こんなときは	62
保証書	63



※左のコードは、下記の番号を意味しています。
商品に関する情報にはアクセスできません。

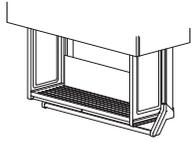
W103330000

1. ご使用前に

1.1. 各アイテムのなまえ

各アイテムの名称と参照先は、下図のとおりです。

吊戸棚



ハンドムーブ

参照

- ・安全上の注意：吊戸棚 P.12
- ・重量に関する規定：ハンドムーブ P.15
- ・使い方：収納アイテムの使い方—吊戸棚 P.46～48

調理機器

参照

- ・安全上の注意：調理機器・組込機器類 P.6～9
- ・使い方：別冊の専用取扱説明書

ワークトップ

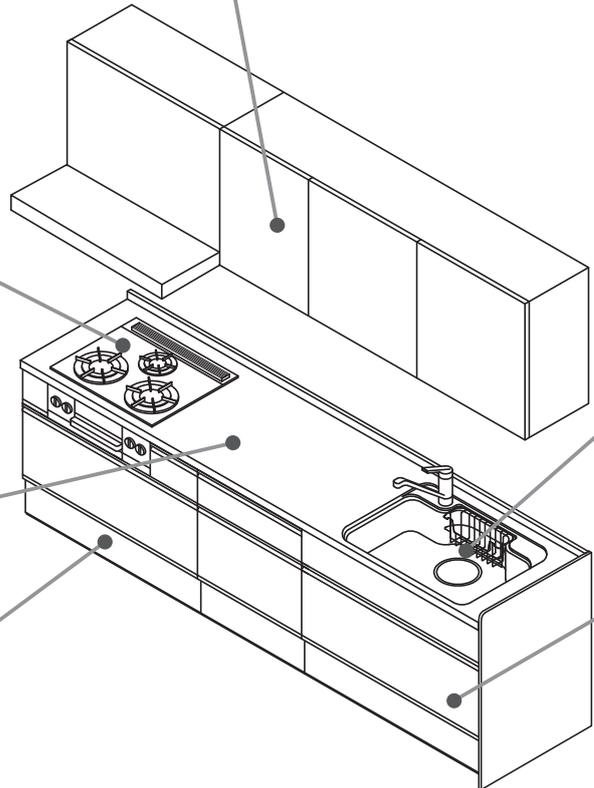
参照

- ・使い方：P.18～24

足元収納

参照

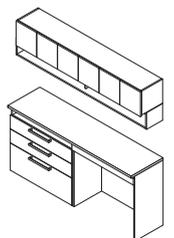
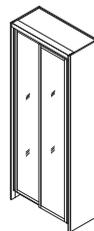
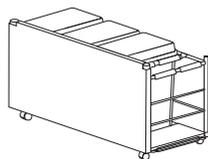
- ・安全上の注意：足元収納 P.11
- ・収納例：キャビネットの収納例 P.28



● キッチン周辺収納



蒸気排出
ユニット



家電収納庫

参照

- ・重量に関する規定：P.15
- ・使い方：家電収納庫 P.51

リサイクルゴミワゴン

参照

- ・安全上の注意：
リサイクルゴミワゴン P.13
- ・重量に関する規定： P.15
- ・使い方：
リサイクルゴミワゴン P.50

システムスライド収納

参照

- ・安全上の注意：
システムスライド収納 P.12
- ・重量に関する規定： P.15
- ・使い方：
システムスライド収納 P.49

カグタス収納

参照

- ・安全上の注意：P.13
- ・重量に関する規定
：P.15
- ・使い方：P.52～53

水栓

参照

- ・安全上の注意：水栓 P.9
- ・使い方：別冊の専用取扱説明書

シンク

参照

- ・安全上の注意：シンク P.9
- ・使い方：P.18～24

排水口

参照

- ・使い方：排水口周り P.25～27

キャビネット

参照

- ・安全上の注意：キャビネット P.10～11
- ・重量に関する規定：P.15
- ・収納例：キャビネットの収納例 P.28
- ・使い方：P.29～45

取扱い方法・お手入れに関する動画は、こちらの2次元コードからご覧ください。



※取扱い方法、お手入れの動画がない商品・部位もございます。
※ご利用いただく際に発生する通信料などは、お客様のご負担となりますので、予めご了承ください。

本書について

- ・キッチンには様々な形状のものがあるため、お客様がご使用の商品と異なる場合があります。
- ・本書では、使用上支障のない範囲で略図を使用しています。
- ・シンクやキャビネットなどのアイテムごとに構成しています。各アイテムに関するページには、「使用上の注意」「お手入れのしかた」などの情報を記載しています。
- ・「Q&A」にはお客様からよくあるお問い合わせをまとめています。疑問点、不明点がある場合にご覧ください。
- ・本書に記載の「コーリアン®」は米国デュポン社または関連会社の登録商標です。

1. ご使用の前に	
1.1. 各アイテムのなまえ	2
1.2. お手入れスケジュール	4
1.3. 定期的な点検	5
2. 安全上の注意	
2.1. 安全上の注意	6
2.2. 重量に関する規定	15
3. キッチンの使い方	
3.1. キッチン全体	16
4. 調理アイテムの使い方	
4.1. ワークトップ (カウンター類を含む)・シンク	18
4.2. 排水口周り	25
5. 収納アイテムの使い方—キャビネット	
5.1. キャビネットの収納例	28
5.2. 包丁差し	29
5.3. マグネフリーパネル	31
5.4. 斜め包丁差しマグネット化アタッチメント	34
5.5. スライドボックス付シンクキャビネット	36
5.6. リフォーム配管対応シンクキャビネット	37
5.7. シンクキャビネット (コンセント付)	38
5.8. 網カゴスライドキャビネット	40
5.9. 開き扉・引出し・棚板・配管プレート	41
6. 収納アイテムの使い方—吊戸棚	
6.1. 吊戸棚	46
6.1. ハンドムーブ	46
7. 収納アイテムの使い方—キッチン周辺収納	
7.1. システムスライド収納	49
7.2. リサイクルゴミワゴン	50
7.3. 家電収納庫	51
7.4. カグタス収納	52
8. その他部材	
8.1. フロントスクリーン	54
8.2. 照明器具	54
8.3. CA ボード・マグネット対応壁パネル	55
9. アクセサリーパーツのご案内	
9.1. シンクアクセサリーパーツ	57
9.2. 引出しオプションパーツ	59
9.3. 便利アイテム	60
10. こんなときは	
10.1. Q & A	62
保証書	63

1. ご使用前に

1.2. お手入れスケジュール

● お手入れスケジュールのすすめ

- 毎日使うキッチン、こまめなお手入れが欠かせません。次のスケジュールを参考に、お客様の生活に合わせたお手入れ計画を立ててください。
- 調理機器、レンジフード、水栓、浄水器などの関連機器商品について詳しい内容は、別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

年間お手入れスケジュール例

期 間	お手入れ内容
毎日	<ul style="list-style-type: none">• ワークトップ (カウンター類を含む)：水滴などの軽い汚れを拭き取る。• シンク：スポンジに中性洗剤をつけて洗う。• 排水口：浅型カゴにたまったゴミを捨てる。• 引出し前板・開き扉：水滴や油汚れを拭き取る。• 調理機器のトッププレート：煮こぼれや水滴などの軽い汚れを拭き取る。• 調理機器のグリル：使用后、油汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。• レンジフード：手の届く範囲の汚れを拭き取る。
週一度 または 汚れてきたら	<ul style="list-style-type: none">• ワークトップ (カウンター類を含む)・シンク：メラミンフォームやスポンジに中性洗剤をつけて洗う。• 排水パイプ (ホース)：防臭器を取り出して、中までしっかり洗う。 洗い桶に1～2杯(5～10ℓ)のぬるま湯をため、食器用洗剤を混ぜて薄めた後、勢いよく流す。• 水栓金具：水滴などの軽い汚れを拭き取る。• ガスコンロのゴトク：こびりつき汚れを洗う。• 引出し前板・開き扉・取っ手：汚れを中性洗剤で拭き取った後、乾拭き。• 壁パネル：油はねなどの汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。
月一度	<ul style="list-style-type: none">• 排水パイプ (ホース)：排水プレート～防臭器を取り外して排水パイプ用洗剤を、排水パイプ (ホース) に注ぎ、洗浄する。 洗浄後は、十分に水を流す。• レンジフード：フィルターなどを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。
半年～年一度	<ul style="list-style-type: none">• レンジフード：ファンを取り外して洗う。 ファンを取り外さないものもあるので、詳しい内容は専用取扱説明書をご覧ください。• 浄水器：カートリッジ交換を忘れずに行う。 交換時期については専用取扱説明書をご覧ください。

MEMO 洗剤の使い方によっては手荒れの原因になります。ゴム手袋をはめるなど、気をつけてお手入れしてください。

気づいたらすぐに

次のような場合、気づいたときにすぐに対処するようにしてください。

- シンクやワークトップの水あかの付着やもらいサビがあった場合、すぐに対処してください。

参照 4.1. ワークトップ (カウンター類を含む)・シンク P.18～24、10.1. Q&A P.62

- ガスコンロのバーナーキャップに目詰まりがある場合、すぐに対処してください。
- 水の出が悪くなった場合、水栓のストレーナー (ろ過用の金具) をチェックしてください。

参照 ガスコンロ、水栓金具について詳しい内容は別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

- 汚れを見つけたら、すぐに拭き取ってください。そのまま放置すると、汚れが取りにくくなります。
- 床にこぼれた水はこまめに拭くようにしてください。

1. ご使用前に

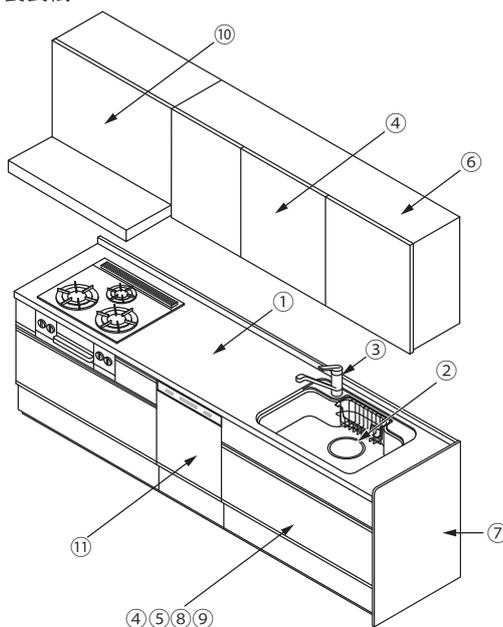
1.3. 定期的な点検

定期的な点検のすすめ

商品は長期間お使いいただくことで、経年劣化してきます。安全にお使いいただくために、定期的に水漏れ点検と安全点検を行ってください。水漏れ点検は月一度、安全点検は年一度が目安です。

水漏れがあった場合、元栓や止水栓を締めてから、速やかにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。また、使用時に、部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかにクリナップカスタマーセンターに修理を依頼してください。そのまま放置していると思わぬ事故の恐れがあります。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙



点検箇所	点検の種類	点検方法	症状	想定される被害
①ワークトップ・シンク	水漏れ点検	ワークトップ、シンクに穴開きやひび割れがないか確認してください。	穴開きやひび割れ	水漏れによる家財などの破損、破損部接触によるケガ
②排水器具	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	排水接続部のゆるみ、破損	水漏れによる家財などの破損
③水栓金具	水漏れ点検	水栓金具を操作して、本体やレバーにガタつきがないか確認してください。	本体やレバーのガタつき	水漏れによる家財などの破損
	安全点検	レバーを操作して温度調節が適正にできるか確認してください。	温度調節ができない	熱湯によるやけど
	安全点検	水栓金具本体やシャワーヘッド、レバーなどのめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内の配管、接続部、シャワーホースの水漏れ	水漏れによる家財などの破損
④扉	安全点検	扉を開閉して、変形やガタつき、異音がないか確認してください。	変形やガタつき、異音	落下によるケガおよび家財などの破損
	安全点検	扉の表裏面にひび割れやはがれがないか確認してください。	ひび割れや表面のはがれ	破損部接触によるケガ
⑤取っ手	安全点検	取っ手のめっき部にはがれがないか確認してください。	めっき部のはがれ	はがれためっき部によるケガ
⑥吊戸棚	安全点検	吊戸棚が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	本体の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財などの破損
	安全点検	棚板が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	棚板の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財などの破損
⑦キャビネット	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内で水が漏れている	水漏れによる家財などの破損
⑧引出し	安全点検	引出しに変形していないか、ガタつきがないか確認してください。	変形やガタつき	落下によるケガおよび家財などの破損
⑨包丁差し	安全点検	包丁差しにガタつきがないか確認してください。	ガタつき	包丁差しおよび包丁自体の落下によるケガ
⑩レンジフード	安全点検	レンジフードの幕板、整流板、フィルターなどにガタつきがないか確認してください。	幕板、整流板、フィルターのガタつき	落下によるケガおよび家財などの破損
⑪食器洗い乾燥機	水漏れ点検	食器洗い乾燥機周りに水漏れがないか確認してください。	水漏れ	水漏れによる家財などの破損

点検の結果、不備があった場合は、クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙

2.1. 安全上の注意

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡や重症を負う恐れがある内容」が記載されています。



注意

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が生じる恐れがある内容」が記載されています。



禁止

この行為は禁止されています。



注意

この行為は、注意が必要です。



必ず実行

この行為を必ず実行してください。



手をはさまれないよう注意

引出しや扉などで手をはさむことで、傷害が起こる可能性があります。



接触禁止

特定の条件で特定の場所に触れると、傷害が起こる可能性があります。



発火注意

特定の条件で発火の恐れがあります。



ぬれ手禁止

製品をぬれた手で扱うと感電する恐れがあります。

警告



発火注意

コンセントの表示容量（ワット）を超える電気製品を使わない。

発熱により、火災の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でコンセントや電気製品を触らない。コンセントや電気製品に水をかけない。

感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。



発火注意

調理機器の使用後および外出時には、スイッチを切る。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



発火注意

調理機器の上や周りには、燃えるものを置かない。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



発火注意

調理機器を使っているときは、その場を離れない。

高温になりすぎて、火災の原因になります。



発火注意

キャビネット内や家電収納庫などのスライド台に電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器などの加熱機器を置いて使用しない。

キャビネットが加熱され、火災の原因になります。



必ず実行

吊戸棚本体がグラついたり、壁との間にすき間が空いているときは使用を中止する。

吊戸棚が落ちたり、収納物が落下してケガをする恐れがあります。クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照

アフターサービスのご用命 裏表紙



必ず実行

扉が傾いていたり、ガタついているときは、丁番のねじを締め直す。

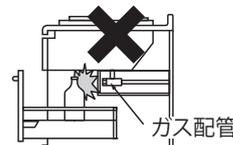
扉が落ちたり、収納物が落下してケガをする恐れがあります。また、ねじがゆるんでいないことを定期的に確認してください。

参照 5.9. 開き扉・引出し・棚板・配管プレート P.41～45

発火注意

コンロ下の引出しにもものを収納する場合には、ガス配管部およびガス配管ガードを避けて収納する。ガス配管ガードの下の収納物は高さ20cmのものまでとする。

無理に収納すると、破損やガス漏れ、火災の原因になります。



必ず実行

キッチンに組み込まれている機器、市販の調理機器などは、商品に付属の取扱説明書および商品本体に表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。



注意

マグネット製品を使用する際は電子機器類の影響に注意する。

誤作動をまねく恐れがあります。また、心臓用ペースメーカーをお使いの方は、必ず30cm以上離してご使用ください。

シンクキャビネット（コンセント付）



発火注意

製品を分解・改造・修理をしない。

感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。



禁止

アース接続が必要な電気製品は使用しない。

漏電により、感電の原因になります。



発火注意

コンセントの表示容量（ワット）を超える電気製品を使わない。

発熱により、火災の原因になります。



発火注意

たこ足配線をしない。

発熱により、火災の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でコンセントユニットや電気製品を触らない。コンセントや電気製品に水をかけない。

感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。



発火注意

電源コードを引っ張るなど、コンセントユニットに無理な力をかけて使用しない。

破損による、感電・火災の原因になります。



発火注意

コンセントユニットに水・洗剤・スプレーをかけない。

破損による、感電・火災の原因になります。

2. 安全上の注意

2.1. 安全上の注意



必ず実行

コンセントユニット、電源プラグについて水や汚れは、必ず乾いた布できれいに拭き取ってから使用する。

破損による、感電・火災の原因になります。



発火注意

表面被覆が傷ついた電源コードを使用しない。

破損や断線などによる、感電・火災の原因になります。



発火注意

電源コードを無理に曲げたまま使用しない。

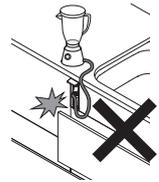
破損や断線などによる、感電・火災の原因になります。



発火注意

電源コードが垂れたまま、引出しなどを開けない。

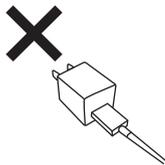
破損や断線などによる、感電・火災の原因になります。



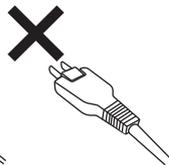
禁止

規定のプラグコード以外を使用しない。

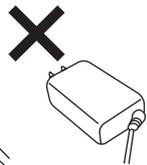
破損や定格消費電力を超えることによる、感電、火災の原因になります。



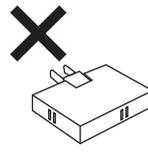
携帯充電用プラグ



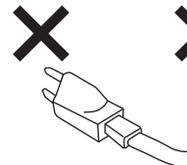
刃が可動するプラグ



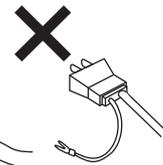
ACアダプター



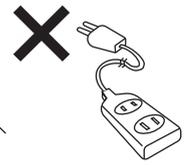
テーブルタップ



3芯プラグ



アース付プラグ



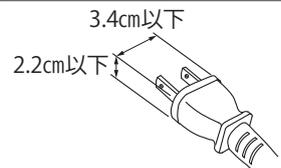
延長コード



禁止

差込口の根元まで差すことのできない電源プラグを使用しない。

液体がすき間からコンセントユニット内に浸入することによる、感電・火災の恐れがあります。



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

液体がすき間からコンセントユニット内に浸入することによる、感電・火災の恐れがあります。



禁止

先端の曲がった電源プラグは使用しない。

破損による、感電・漏電・火災の恐れがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持ってまっすぐに引き抜く。

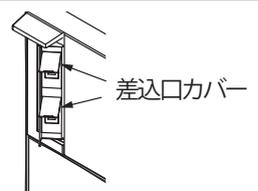
破損による、感電・漏電・火災の恐れがあります。



禁止

コンセント差込口カバーを割れ・外れ・開けすぎた状態で、使用しない。

液体がコンセントユニット内に浸入することによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。コンセント差込口カバーが破損した場合は、使用を中止し、直ちにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。



禁止

コンセントユニットにガタつきや破損がある状態で、使用しない。

液体がコンセントユニット内に浸入することによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。コンセントユニットにガタつきや破損がある場合やコンセント差込口カバーが破損した場合は、使用を中止し、直ちにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙

⚠ 注意

キッチン全体



禁止

取っ手、扉、引出し、棚、ラック、ワゴンにぶら下がったり、体重をかけたりしない。

破損し、ケガをする恐れがあります。

〈吊戸棚〉



〈引出し、扉 (取っ手)〉



必ず実行

引出しの取り外し、取り付け、調整またはキャビネット内のお手入れをする場合は、引出しレールや部品などに十分注意して行う。

手や指などにケガをする恐れがあります。



必ず実行

床面に油などが飛び散ったらすぐに拭き取る。

足を滑らせて、ケガをする恐れがあります。特に、対面キッチンのコンロ側が通路になっているキッチンやダイニング側に注意してください。



禁止

ワークトップやキャビネット、扉、パネルなどに加工や改造をしない。

破損や故障の原因になります。



必ず実行

カウンターの角部に頭や体をぶつけないように注意する。

特に小さなお子様の場合、ケガをする恐れがあります。

調理機器・組込機器類



接触禁止

調理中や使用直後は、調理機器周辺に手を触れない。

やけどの恐れがあります。



シンク



禁止

シンクにまな板を渡した状態で、カボチャなどの硬いものや切りにくいものを切らない。まな板をサポートプレートの上に置いてものを切らない。

まな板やサポートプレートがシンクから外れて、ケガをする恐れがあります。ワークトップ上で作業をしてください。



禁止

てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さない。

排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。また、排水管のつまりの原因になります。

水栓



必ず実行

混合水栓を使用するときは、必ず水を先に出す。

湯を先に出すと、水栓および熱湯で、やけどをする恐れがあります。特に、お子様は注意してください。

2. 安全上の注意

2.1. 安全上の注意

⚠ 注意

キャビネット

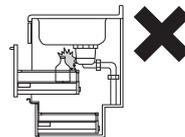
●シンクキャビネット、ベースキャビネット、コンロキャビネット



必ず実行

シンク下の引出しやスライドボックスに収納する場合は、排水器具と接触しないように、収納物の高さに注意する。

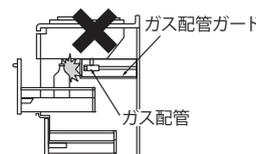
接触すると、排水器具が破損する恐れがあります。



必ず実行

コンロ下の引出しに収納する場合は、ガス栓（中間コック）と接触しないように、収納物の高さに注意する。

接触すると、ガス栓が閉じたり破損したりする恐れがあります。



必ず実行

包丁差しは扉に固定して使う。

包丁が脱落し、ケガをする恐れがあります。



禁止

包丁差しを固定しているねじは外さない。

包丁の落下につながり、思わぬケガをする恐れがあります。



必ず実行

包丁差しの固定ねじがゆるんでガタつきが発生したときは、ねじを締め直す。

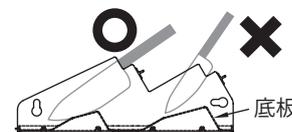
包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。



必ず実行

包丁差込口に、確実に包丁を差し込む。

扉を引き出したときに包丁が外れ、ケガをする恐れがあります。特に、右図のような斜めに包丁を入れるタイプの場合は、段差に柄の部分が掛かるように収納してください。



禁止

包丁を無理に引っ張らない。

勢よく包丁が抜け、ケガをする恐れがあります。包丁が抜けないときは一度正しい収納位置に戻し、ロックが外れていることを確認してからまっすぐに引き抜いてください。



必ず実行

ロック付斜め包丁差しを取り付けるときはピンが正しくはまっていることを確認する。

包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。

参照 5.2. 包丁差し P.29～30 5.4. 斜め包丁差しマグネット化アタッチメント P.34～35

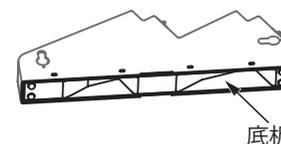


必ず実行

ロック付斜め包丁差しは必ず底板を取り付けて使用する。

包丁差しの底板がしっかり取り付いていることを確認してください。包丁の刃が露出し、ケガをする恐れがあります。

参照 5.2. 包丁差し P.29～30



禁止

包丁を差したまま包丁差しや引出しのお手入れを行わない。

包丁の刃に触れ、ケガをする恐れがあります。お手入れは包丁を取り出してから行ってください。



注意

スライドボックスに収納する場合は、排水器具に当たらないように、収納物の高さ、奥行きに注意する。

収納物が排水器具に当たると、排水器具が破損し、水漏れする恐れがあります。



ガス配管ガードは絶対に外さない。
ガス配管と収納物がぶつかってガス漏れする恐れがあります。



ガス配管ガードの中にもものを入れない。
ガス配管と収納物がぶつかってガス漏れする恐れがあります。



●シンクキャビネット（コンセント付）



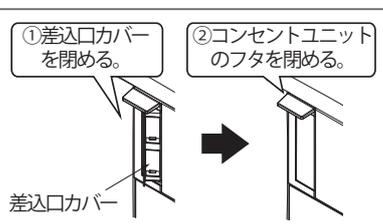
電源コードがぬれたり、加熱機器に電源コードが掛かったまま、使用しない。
断線・ショートによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。



調理家電を使用時に、電源コードなどで遊ばないように注意する。
電源コードを引っ張り、調理家電や物が落下し、ケガ・やけどをする恐れがあります。



調理家電を使用していないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、差込口カバーを閉めて、コンセントユニットのフタも閉める。
液体がこぼれてコンセントユニット内部に浸入することによる、感電・漏電・火災の恐れがあります。



●足元収納



足元収納を引き出したまま作業しない。また、足場代わりにしない。
足をぶつけたり、転倒によるケガや、足元収納が破損する恐れがあります。



足元収納を引き出す場合は、足元に注意して引き出す。また、他の作業業者やお子様など、周囲の人にも注意する。
足の指をはさみ込んで、ケガをする恐れがあります。



引出しを開けたまま、足元収納を引き出さない。
指をはさんだり、引出しや足元収納の破損の恐れがあります。

●開き扉、引出し、棚板



開き扉開閉時は、丁番には触れない。
丁番に指をはさむ恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。



引出しの開閉時は、ワークトップや引出しの扉上部に手を掛けない。
ワークトップと扉の間に指をはさむ恐れがあります。



扉を調整する場合は、ねじをゆるめすぎない。
ねじをゆるめすぎると扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。



扉を大きく開けすぎない。
丁番が破損したり、扉が外れて、ケガをする恐れがあります。



棚受けダボは確実に奥まで差し込む。
棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。


注意
吊戸棚
●ハンドムーブ


禁止

操作部以外に手を掛けない。また、機構部や本体のすき間に手を入れない。

手をはさむ恐れがあります。



必ず実行

収納物がはみ出したまま昇降させない。

収納物の落下によるケガや、ラック、キャビネットの破損の恐れがあります。



禁止

割れやすいもの、不安定なもの、包丁・薬品・熱せられた調理道具などの危険なものを収納しない。

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。



禁止

勢いよく昇降しない。

収納物が落下したりして、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。



必ず実行

バネ切り替えレバーは、収納重量に対して適切にセットする。

収納ラックが勢いよく戻ったり急降下したりして、収納物の落下や、収納ラックの変形・落下により、ケガをする恐れがあります。

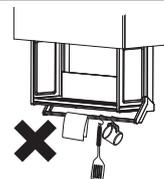
参照 6.2. ハンドムーブ P.46～48



禁止

操作レバーにもものを引っ掛けない。

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。



禁止

調理作業時などに、収納ラックを降ろしたまま放置しない。

頭などをぶつける恐れがあります。



必ず実行

棚は、降ろしきった状態で使用する。

収納物が落下して、ケガをする恐れがあります。

キッチン周辺収納
●システムスライド収納


必ず実行

扉の周りに人がいないことを確認し、取っ手を持ってゆっくりと開閉する。また、機構部を手や足で触らない。

扉と扉の間に手をはさんだり、機構部で手や足をはさんでケガをする恐れがあります。

●リサイクルゴミワゴン



禁止

ワゴンを勢いよく動かさない。

ワゴンが転倒してケガをする恐れがあります。特に、床下収納庫など床に段差のある部分を移動する場合は、手でしっかり支えながら移動してください。



禁止

ワゴン周辺にキッチンマットや毛足の長いじゅうたんを敷いて使用しない。

ワゴンに毛がからまり、転倒してケガをする恐れがあります。



必ず実行

ワゴンを、床下収納庫など床に段差のある部分で移動する場合は、特に、手でしっかり支えながら移動する。

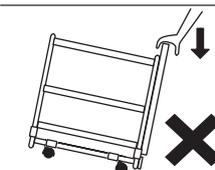
転倒する恐れがあります。



禁止

ワゴンで遊んだり、寄りかかったりしない。

ワゴンが転倒して、ケガをする恐れがあります。



●家電収納庫・カグタス収納



禁止

スライド台には熱い鍋や重いもの、包丁、重心位置の高い食器などを載せない。

鍋や包丁などが落下して、ケガややけどをする恐れがあります。

対面型キッチン



禁止

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、鍋やフライパンなどの柄に手を引っ掛けないようにする。

鍋やフライパンなどが落下して、ケガややけどをする恐れがあります。



必ず実行

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、ワークトップから床面に油などの飛び散りが想定される。床面に油などが飛び散ったら、すぐに拭き取る。

足を滑らせて、転んでケガをする恐れがあります。



必ず実行

ダイニング側のカウンター部に注意する。

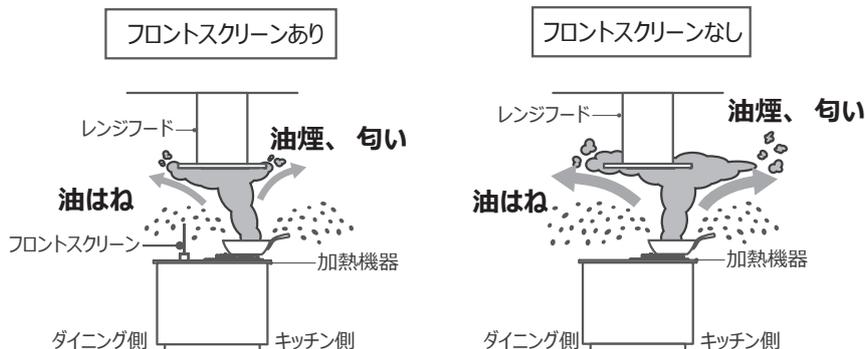
小さなお子様の場合、頭や顔などをぶつけてケガをする恐れがあります。



注意

「フロントスクリーンなし」の場合、ワークトップや周囲の床、壁が汚れやすくなったり、油煙や匂いがキッチンまたはリビングに広がりやすくなるので注意する。

調理中の油はねなどにより、ワークトップや周囲の床、壁が汚れやすくなります。また、レンジフードが室内の空気の流れ（窓、エアコン、人の動きによる風など）の影響を受けやすくなるため、油煙を吸い込みにくくなり、油煙や匂いがキッチンまたはリビングへ広がる場合があります。



2.1. 安全上の注意

対面型キッチン

●フロントスクリーン、防熱板



禁止

ガラスに強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。
傷がつくとガラスが割れてケガをする恐れがあります。特に端部への衝撃にはご注意ください。また、ガラスにできた傷が大きくなり破損することがあります。



接触禁止

調理中や調理直後はフロントスクリーンや防熱板に手を触れない。
調理機器からの熱などで熱くなり、やけどの恐れがあります。



禁止

フロントスクリーンのガラスやフレームに寄りかからない。
ガラスが割れてケガをする恐れがあります。また、フレームが変形する恐れがあります。



禁止

万一、ガラスが破損（ひび、欠けなど）したときは、そのままの状態にしない。

破損部でケガをしたり、ガラスにできた傷が大きくなり全損につながる恐れがあります。ガラス破損時は、直ちにクリナップカスタマーセンターまで商品の交換を依頼してください。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙

その他部材

●コンセント



必ず実行

ときどき電源プラグを抜いて拭き取り、ほこりがたまらないようにする。
ほこりがたまると発火の恐れがあります。特に湿気の多い場所のコンセントに注意してください。

●照明器具



接触禁止

点灯中や消灯直後（約5分間）は照明の表面が高温になっているので、素手で触らない。

お手入れをする場合は照明のスイッチを切り、十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

洗剤



必ず実行

台所で使われる洗剤・洗淨具・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類は、それぞれの容器などに表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器類が傷み、水漏れ事故や故障の原因になることがあります。



禁止

台所には、固形または粉末の塩素系の洗淨剤（ヌメリ取り剤など）を使用したり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化およびサビを発生させ、水漏れにつながる場合があります。



禁止

台所では成分表示のない洗剤類、台所以外の用途である洗剤類は使用しない。

キッチン本体が傷み、水漏れ事故や故障の原因になることがあります。

2.2. 重量に関する規定



収納アイテム



禁止

収納アイテムに、収納物を無理につめ込まない。

引出しや棚板の変形の原因になります。

●キャビネット、棚板



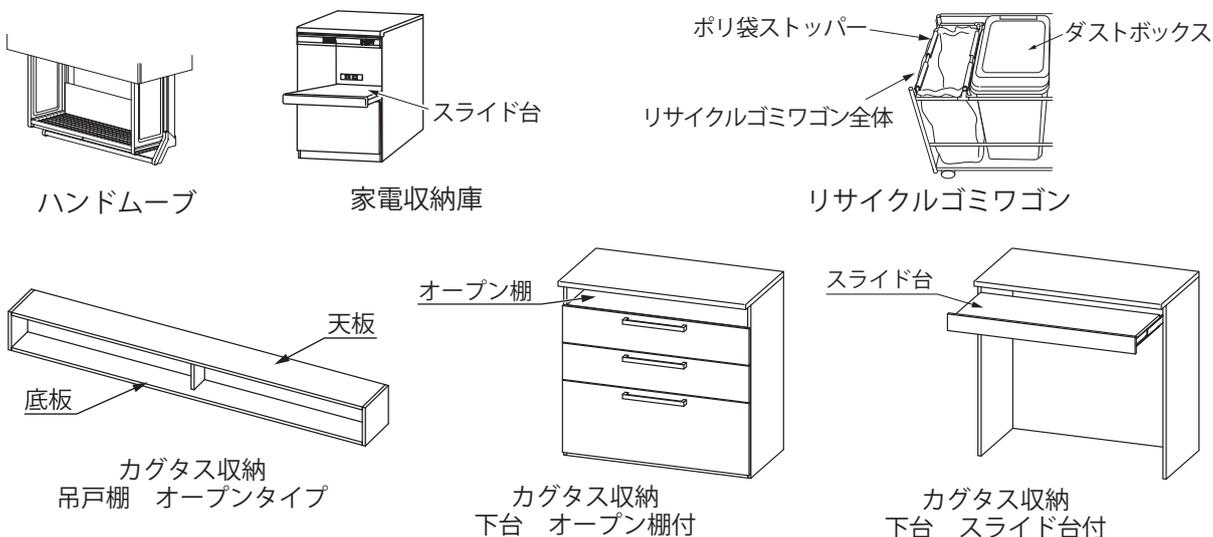
必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

限度以上の収納をすると、変形・落下・破損や、ケガの原因になります。

部位		耐荷重	
全般	棚板 1 枚	20 kg	
	引出し 1 段	20 kg	
	引出し 1 段マグネットフリーパネル付き	18 kg	
シンクキャビネット	スライドボックス	8 kg	
リフォーム配管対応シンクキャビネット	手前 (アルミ部)	12 kg	
	奥	8 kg	
ベースキャビネット 開き扉タイプ 食洗機用キャビネット 開き扉タイプ	樹脂引出し 1 段	5 kg	
コンロキャビネット	コンロ横引出し	2 kg	
間口 15 cm のスライドキャビネット	網カゴタイプ	10 kg	
ハンドムーブ	ハンドムーブ	8 kg	
片面ハイフロアキャビネット 家電収納庫	スライド台	15 kg	
カグタス収納 吊戸棚 オープンタイプ	底板、天板 各 1 枚 <small>仕切り板が入っている場合でも底板、天板は各 1 枚です。ただし、キャビネットが分割している場合は、底板は 1 枚ずつになります。</small>	10 kg	
	下台 スライド台付	スライド台	15 kg
	下台 オープン棚付	棚板 1 枚	10 kg
リサイクルゴミワゴン	全体	20 kg	
	ポリ袋ストッパー	5 kg	
	ゴミ箱 1 個	5 kg	
底板 <small>仕切り板が入っている場合でも、底板 1 枚です。ただし、キャビネットが分割している場合は、底板 1 枚ずつになります。</small>	1 枚	20 kg	

MEMO 20kg = 直径 26cm の大皿 25 枚以内が目安です。



3.1. キッチン全体

● 使用上の注意

● ステンレス部品 (ステンレスワークトップ、引出し底板など)



ぬれた包丁・塩・しょうゆ、または鉄製のタワシやステンレス以外の金属 (缶詰など) を放置しない。

もらいサビを引き起こし、腐食して穴が開く恐れがあります。



ステンレス部品には、塩素系の洗剤は使用しない。

サビの原因になります。

● 樹脂部品 (人工大理石ワークトップ、プラスチック製品など)



樹脂部品に洗浄力の強い洗剤成分、または油成分などを付着したまま放置しない。

しみ・変色、ひびや破損の原因になります。必ずすぐに拭き取ってください。



樹脂部品に油脂類、シンナー、酸性の洗剤、塩素系やアルカリ性の洗剤などは使用しない。

ひびや破損の原因になります。

● 開き扉・引出し・化粧板・棚板・取っ手・キャビネット



家具用ワックス、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、カビ取り剤などを使用しない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれる原因になります。



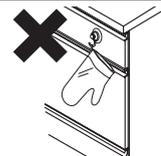
水をかけたまま放置しない。

表面のふくれの原因になります。必ずすぐに拭き取ってください。



開き扉・引出し前板やボードなどにテープや吸盤などを長期間取り付けたままにしない。

変色やはがれ、ふくれなどの恐れがあります。



開き扉・引出し前板やボードなどをメラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれる原因になります。



引出しを開けたまま、他の引出しを開けない。

引出しが自重で下がったり、左右のブレによって、扉どうしが干渉し、破損の恐れがあります。



間口の大きい引出しは、取っ手の端部を持って開閉しない。

扉がガタつき、引き出しにくい恐れがあります。



必ず実行

キャビネット内に調味料、洗剤などを保管する場合は、必ず密閉し、液垂れしないようにする。

サビの原因になります。

●フロントスクリーン（ハイタイプ）



禁止

ダイニング側のガラス面にはガラスクリーナーを使わない。

フロントスクリーン（ハイタイプ）のダイニング側のガラス面は飛散防止フィルム貼りです。変質・変色する恐れがあります。

●その他



禁止

間口の大きい引出しは、取っ手の端部を持って開閉しない。

扉がガタつき、引き出しにくくなる恐れがあります。またサイド化粧板に干渉し、破損の恐れがあります。



注意

室内の温度や調理機器の使用時間・方法などによってコンロキャビネットおよび、隣接するキャビネットの庫内温度が上昇するので、収納物の保存には留意する。

温度変化によって劣化しやすい調味料や食材の保存や、長期保存は避けてください。保存にあたっては、調味料や食材に記載の保存方法に従ってください。



禁止

ストーブ・暖房器具などを近づけない。

キャビネットや扉などの反りや変形の恐れがあります。



注意

ワークトップ、カウンター上に炊飯器などの蒸気を発生する機器を置いて使う場合、吊戸棚に直接蒸気がかからないように留意する。

結露により水滴がつき、キャビネットの塗装がはがれたり、ふくらんだりする恐れがあります。水滴を乾いた布で拭き取ってください。



禁止

調理機器のグリル扉を開けたまま、グリルを使わない。

機器上部の変色やワークトップの焦げや破損、隣接する部材の変形などの恐れがあります。



●お手入れのしかた

キャビネット・ステンレス部品・樹脂部品・扉・引出し・棚板・取っ手

通常のお手入れ

綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れた場合のお手入れ

汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。

注意

開き扉・引出し前板やパネル、樹脂部品などはメラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしないでください。変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれる原因になります。

シースルー扉のお手入れ

シースルー扉の半透明板は、プラスチックです。汚れた場合は、傷を避けるため、ほこりなどは柔らかいハケで払い落とし、綿などの柔らかい布で拭いてください。

注意

- ・シースルー扉には、ガラスクリーナーを使わないでください。表面が白く変質・変色したり、傷がつく恐れがあります。
- ・メラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしないでください。変色・つやや光沢がなくなる原因になります。

4. 調理アイテムの使い方

4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

ラクエラのワークトップやシンク、カウンター類にはさまざまな種類の素材があります。それぞれの素材の特徴や使用上の注意、お手入れの仕方をお読みにになり、素材に合った使い方をしてください。

●各素材の特徴

素材名	対象部材	特徴	前縁形状
ステンレス	ワークトップ シンク	サビに強く丈夫な素材です。 サイレントシンクには美コート（セラミック系特殊コーティング）を施しています。美コートは油汚れが落としやすく、日々のお手入れで簡単にきれいを保つことができます。 美サイレントシンクの底面には、特殊エンボス加工を施しています。特殊エンボス加工により、食器や調理器具の接する面を小さくし、こすれキズがつきにくく、目立ちにくくします。	
アクリストン	ワークトップ シンク	美しい色合いを長く保てる人工大理石です。 豊富な柄と色のバリエーションがあります。	
コーリアン®	ワークトップ	美しい色合いを長く保てる人工大理石です。 流れ模様や粒により、天然石のような風合いをもち、上質なインテリアを演出します。	
メラミン	カウンター類	カウンターとして使用できる耐久性の高い化粧板です。 砂目調や木目調など、豊富な柄と色のバリエーションがあります。	

● 使用上の注意

●ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク共通



ワークトップをまな板代わりに使用しない。

傷がつく恐れがあります。



強い衝撃を与えない。ワークトップに乗らない。

破損の原因になります。



ワークトップの上に熱い油鍋、沸騰したやかんなど、熱いものを直接置かない。

変色・変形・割れ・ふくれ（ステンレスワークトップの場合、裏面接着剤のはがれの原因）などの恐れがあります。置く場合は鍋敷き（厚さ1cm以上）などを使用してください。



ワークトップの継ぎ目には、熱いものや重いものを長時間放置しない。

反り・ゆがみ・ひび割れ・表面波打ちの原因になります。



ワークトップやシンクの上に水滴や汚れを残したままにしない。

水あかや汚れが落としにくくなります。こまめに拭くようにしてください。特に濃色のワークトップやシンクは水あかや汚れが目立ちますので、こまめにお手入れをしてください。

参照 お手入れ方法と洗浄具・洗剤 P.20～21



食器や調理器具の置き方に注意し、引きずらない。

表面に傷がつく恐れがあります。鍋を置く場合は、鍋敷きをご使用下さい。特に濃色のワークトップの場合は、傷が目立つので注意してください。



硬く鋭利なもの・砂・貝殻などを押し付けたり落としたりしない。

傷がつく恐れがあり、汚れが取りづらくなります。



熱湯を長時間流したり、頻繁に流さない。また、熱い油鍋をシンクの中に直接置かない。

変色・変形の恐れがあります。熱湯を流す場合は、水栓から水を流しながら行ってください。



シンクに多量の氷や、冷水を入れない。

シンクの裏面や、その周辺が結露して、収納物や引出しをぬらす恐れがあります。

- 人工大理石（アクリストン・コーリアン®）ワークトップ（カウンター類を含む）、人工大理石（アクリストン）シンク



還元水素水生成器・食器洗い乾燥機など、ゴム脚・樹脂脚がついているものやゴム製品を長期間設置しない。

接地面が変色してくることがあります。直接ワークトップに触れないよう、置き台などで工夫してください。



必ず実行

色の濃い食品（キムチ、カレー、紅茶、コーヒーなど）や汚れや色の濃いふきん類の染料、またはアルカリ性洗剤・洗浄剤が付着した場合は、すぐに洗う。

長時間放置すると落としにくくなります。

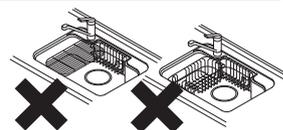
- サポートプレート、水切りバスケット（オプション）



禁止

シンクにしっかり載せて使う。横にスライドさせない。

落下する恐れがあります。シンクフランジにしっかり載せてお使いください。



4. 調理アイテムの使い方

4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

● お手入れのしかた

お手入れ方法と洗淨具・洗剤



必ず実行

下表を参照し、適切なお手入れを行う。

ワークトップやシンクの材質によって、お手入れの方法が異なります。以下の表を参照し、お使いのキッチンに合わせて、適切なお手入れを行ってください。

MEMO お客様がお使いのシンクとワークトップの種類を確認し、表中の「お使いの商品」の欄にチェックマークを入れておくと便利です。

		ワークトップ・シンクのお手入れ方法		
		通常のお手入れ		
洗淨具類 (参考事例)	ふきん・柔らかい布	スポンジ 『ウレタンスポンジ下面』 (ウレタン部) 『ネット付スポンジ』	メラミンフォーム 『激落ちくん』 (レック株式会社)	
	洗剤類 (参考事例)		食器用中性洗剤	
シンク	ステンレス (美コート付)	毎日のお手入れ	週1度のお手入れ	汚れてきたら
	アクリストン			
ワークトップ カウンター類	ステンレス (美コートなし)	毎日のお手入れ	週1度のお手入れ	汚れてきたら
	ステンレス (美コート付)			
	アクリストン			
	コーリアン® (濃色以外)			
	コーリアン® (濃色) メラミン			

〈コーリアン®(濃色)・メラミンの場合〉

注意

軽く拭き取ってください。
メラミンフォームで強く拭き取るとつやが変わる恐れがあります。

注意

- ・汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。こまめにお手入れしてください。
- ・ワークトップを部分的にお手入れすると、拭き取った部分に変色したように見える場合がありますが、変色ではありません。ワークトップ全体をお手入れするようにしてください。
- ・クリームクレンザーやサンドペーパー、スポンジ（研磨粒子付）を使用する場合は、ワークトップの目立たない部分で傷が付かないか確認してください。

- ※1 アクリストーンワークトップ・シンク、コーリアン®ワークトップ（濃色以外）で、汚れや傷をお手入れした箇所とその周辺に光沢の違いが見られる場合は、クリームクレンザーと水を含んだスポンジで、さらに全体を磨いてください。
- ※2 アクリストーンワークトップ・シンク、コーリアン®ワークトップで、下記お手入れを実施したうえで傷や欠けが気になる場合、お買い求めの販売店または、クリナップカスタマーセンターまでご連絡ください。傷・欠けの状況によっては、修理ができない場合もあります。

参照

1.2. お手入れスケジュール P.4

アフターサービスのご用命 裏表紙

ワークトップ・シンクのお手入れ方法

落ちにくい汚れや傷のお手入れ

<p>メラミンフォーム</p>  <p>『激落ちくん』 (レック株式会社)</p> <hr/> <p>クリームクレンザー（研磨材20%以下）</p> 	<p>サンドペーパー240番</p>  <p>スポンジ（研磨粒子付）</p>  <p>『ウレタンスポンジ上面』 (研磨粒子付不織布部)</p> <hr/>	<p>_____</p> <hr/> <p>粉末クレンザー</p> 	<p>金属タワシ</p>  <hr/>
--	---	--	--

× **注意**
傷や表面のつやの変化、傷や摩耗によるコーティングの性能劣化、使用不可 もらいサビの恐れがあります。

○ **使用可**
① 汚れや傷がついた部分を円を描くように磨く。
② 通常のお手入れ同様に仕上げる。 ※1 ※2

注意
シンク底面以外（シンク側面など）には使用しないでください。つやがなくなり、傷がつく恐れがあります。

× **注意**
傷がつき、汚れが取りづらくなる使用不可 恐れがあります。

○ **使用可**
① 汚れがついた部分を磨く。
② 通常のお手入れ同様に仕上げる。
MEMO ヘアライン仕上げの場合は、目方向と平行になるように磨いてください。

× **注意**
傷や表面のつやの変化、もらいサビの使用不可 恐れがあります。

× **注意**
傷や表面のつやの変化、傷や摩耗によるコーティングの性能劣化、使用不可 もらいサビの恐れがあります。

○ **使用可**
① 汚れや傷がついた部分を円を描くように磨く。
② 通常のお手入れ同様に仕上げる。 ※1 ※2

× **注意**
傷がつき、汚れが取りづらくなる使用不可 恐れがあります。

○ **使用可**
① 汚れや傷がついた部分を円を描くように磨く。
② 通常のお手入れ同様に仕上げる。 ※1 ※2

× **注意**
傷がつき、汚れが取りづらくなる使用不可 恐れがあります。

× **注意**
表面のつやがなくなり、白くもる恐れがあります。 ※2
使用不可

4. 調理アイテムの使い方

4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

注意が必要な洗剤類



必ず実行

洗剤類を使用する場合は、下表を確認のうえ、注意して使用する。
また、使用不可な洗剤は使用しない。

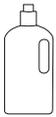
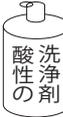
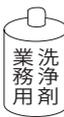
ワークトップやシンクには、使用時に注意が必要な洗剤や使用できない洗剤があります。
洗剤類を使用する場合は、以下の表でご確認のうえ、注意してご使用ください。

		ワークトップ・シンク用の洗剤	
洗剤類 (参考事例)		台所用漂白剤(液状)  各種 『キッチンハイター(液状)』 (花王株式会社)	台所用漂白剤(泡状)  各種 『キッチンハイター(泡状)』 (花王株式会社)
液性・成分		塩素系の漂白剤・洗浄剤やアルカリ性の洗剤	
シンク	全て	 条件付で使用可	●使用条件  禁止 高濃度の原液や高温で使用したり、長時間放置しないでください。サビや変色の恐れがあります。
ワークトップ カウンター類	全て		  必ず実行 使用後すぐに十分に水洗いしてください。

洗剤バスケットのお手入れ

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、ラックを外し、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて、強めに拭いてください。汚れが落ちたら、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で乾拭きしてください。

注意 汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。また、ステンレスシンクのサビの原因になります。こまめにお手入れしてください。

ワークトップ・シンク用以外の洗剤 ※ワークトップ用、シンク用ではないが使用する可能性のある洗剤類				
<p>排水パイプ用洗剤</p>  <p>塩素系のアルカリ性洗剤</p>	<p>排水パイプ用洗剤</p>  <p>ケイ酸塩 (「ナトリウム オルトケイ酸」と成分表記している洗剤)</p>	<p>排水口用洗剤</p>  <p>ヌメリ取り剤</p> <p>固形または粉末の塩素系の洗剤 (ヌメリ取り剤など)</p>	<p>トイレ用洗剤など</p>  <p>酸性の洗剤 (塩酸・硫酸・フッ酸などの強酸、研磨材入りの酸性の洗剤)</p>	<p>業務用洗剤</p>  <p>業務用洗剤</p>
<p>×</p> <p>使用不可</p> <p>注意 長時間の接触により、固着や変色の恐れがあります。</p>	<p>×</p> <p>使用不可</p> <p>注意 腐食やサビの恐れがあります。</p>	<p>×</p> <p>使用不可</p> <p>注意 サビや変色の恐れがあります。</p>	<p>×</p> <p>使用不可</p> <p>注意 長時間の接触により、固着や変色の恐れがあります。</p>	

まな板ラックのお手入れ

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、まな板ラックを外し、小さなブラシを使ってお手入れしてください。

注意 樹脂部品の溝に、汚れがたまったまま放置しないでください。ステンレスシンクのサビやヌメリの原因となります。

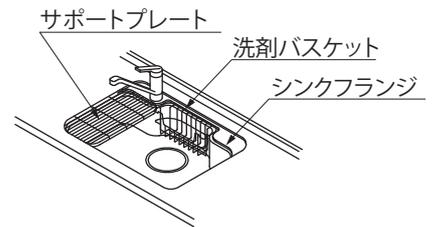
4.1. ワークトップ（カウンター類を含む）・シンク

● 使い方

洗剤バスケットの使い方

- ・ 洗剤バスケット内には、洗剤やスポンジなどを入れます。
- ・ 洗剤バスケットは取り外して洗うことができます。

注意 取り外すときは、洗剤やスポンジなどの収納物やプレートを取り外した状態で上に持ち上げてください。



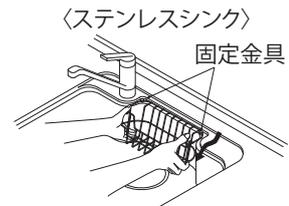
洗剤バスケットの脱着（ステンレスシンク用）

取り外し方

洗剤バスケットの前面を持ち、奥側へ傾け、固定金具から外した状態で上に持ち上げる。

取り付け方

取り外したときと逆の手順で、固定金具に取り付ける。



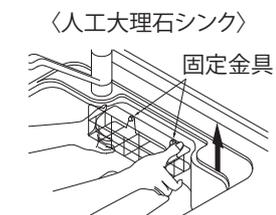
洗剤バスケットの脱着（人工大理石シンク用）

取り外し方

洗剤バスケットの前面を持ち、そのまま上へ引き上げる。

取り付け方

取り外したときと逆の手順で、固定金具に取り付ける。



まな板ラック（ステンレスシンク用）脱着

取り外し方

1. まな板ラックの両端を持ち、ラック全体を左方向に力を加えながらスライドさせ、固定を解除する。
2. 解除されたのを確認し、まな板ラックの両端を持ち、そのまま上へ引き上げる。

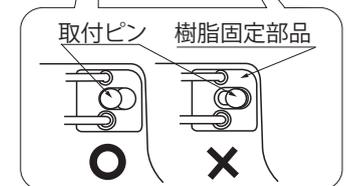
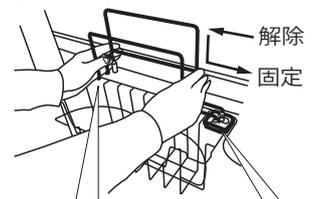
取り付け方

取り外したときと逆の手順で、下に力を加えながら右方向にスライドさせ、取付ピンに固定する。

注意 ・まな板ラックがしっかりと取り付けられていることを確認してください。
樹脂固定部品に取付ピンがはめ込まれていないと、まな板を置いたときに、まな板ラックが外れる恐れがあります。
・樹脂固定部品を分解して洗わないでください。

MEMO 人工大理石（アクリストーン）ワークトップとステンレスシンクの組み合わせの場合、樹脂キャップを上下ひっくり返して取り付けてください。ひっくり返さずに使用すると、水平に取り付かずまな板の納まりが悪くなります。

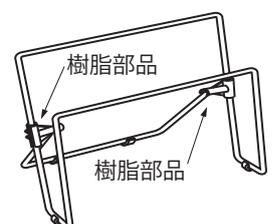
まな板ラックの両端を持って脱着する。



まな板スタンドの使い方

- ・ まな板スタンドは、ワークトップ上に広げて立て、まな板を立てることができます。収納する場合は、樹脂部品をワイヤーラックの洗剤に、上からはめ込んでください。
- ・ まな板スタンドに収納できるまな板の厚さは、3.5cm以下です。

参照 9. アクセサリーパーツのご案内「9.1. アクセサリーパーツ」P.57～61



4.2. 排水口周り

● 使用上の注意



必ず実行

浅型カゴは必ず取り付けて使用する。

排水管に調理クズなどが流れ込み、排水管のつまりの原因になります。



必ず実行

浅型カゴにためたゴミは、こまめに捨てる。

半日以上ためると、悪臭が発生する原因になります。



必ず実行

浅型カゴのお手入れは、必ず排水口本体から取り外して行う。

設置した状態で強い力を与えると、変形したり、傷がつく恐れがあります。



禁止

防臭器は、通常使用時に取り外さない。

排水管からの悪臭が発生します。排水口本体のお手入れと高圧洗浄を行う際に取り外します。



禁止

洗剤をステンレス部分に長時間放置しない。

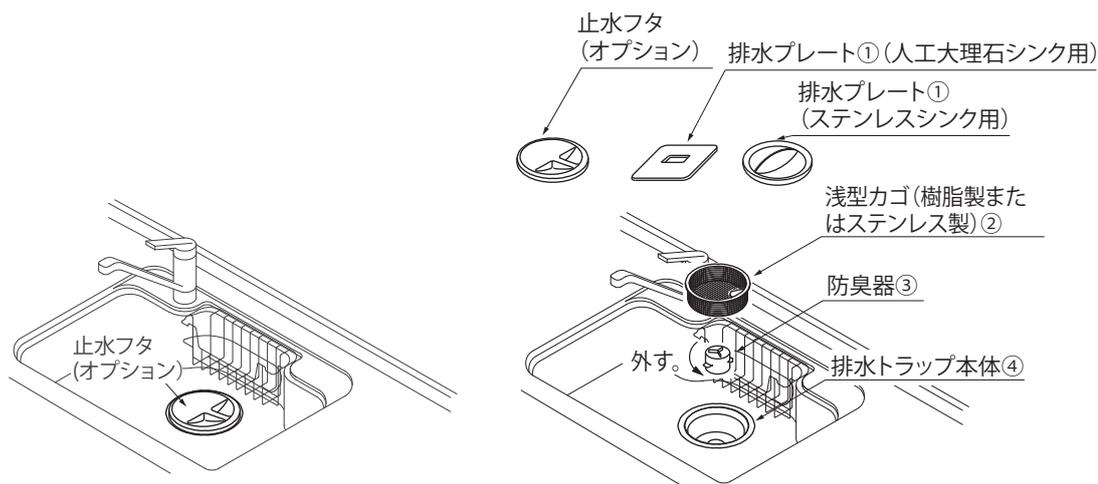
変色の恐れがあります。

● 使い方

排水トラップの使い方

- 排水トラップは、下図のような構成になっています。
- 排水トラップの役割は、封水することにより、排水管からの悪臭を防止し、防虫することです。

MEMO ゴミ処理およびお掃除の際は、排水プレート①～防臭器③を取り外して行ってください。防臭器③は、反時計回りに回すと取り外すことができます。



参照

9. アクセサリーパーツのご案内「9.1. シンクアクセサリーパーツ」P.57～61

4. 調理アイテムの使い方

4.2. 排水口周り

● お手入れのしかた

お手入れ方法と洗浄具・洗剤



必ず実行

下表を参照し、適切なお手入れを行う。

排水口周りの各部品のお手入れは下記の表を参考に行なってください。

MEMO ③防臭器 (P.25 参照) の取り外しは、反時計回りに回し、取り付けは時計回りに回してください。

参照

- ・排水パイプ用洗浄剤を使用する場合は、必ず使用前に、洗浄剤の使用方法・注意をお読みください。
- ・万一、使用不可の洗剤を誤って使用した場合やシンクやワークトップに洗浄剤が付着した場合は、すぐに十分な水できれいに洗い流してください。サビや変色の原因になります。

排水口周りのお手入れ方法	
通常のお手入れ	
洗剤類 (参考事例)	 <p>食器用洗剤</p>
液性・成分	中性・弱アルカリ性・弱酸性洗剤
①排水プレート (美コート付)	<p>週1度以上のお手入れ</p>  <p>使用推奨</p> <ol style="list-style-type: none"> ①洗剤をつけたスポンジで洗う。 ②水で洗剤を洗い流す。 <p>MEMO ステンレス部分は美コートが施されています。ステンレス(美コート付)のシンク同様の お手入れを行ってください。(P.20参照)</p>
②浅型カゴ	<p>週1度以上のお手入れ</p>  <p>使用推奨</p> <ol style="list-style-type: none"> ①洗剤をつけたスポンジで洗う。 ②水で洗剤を洗い流す。
③防臭器	
④排水トラップ本体	<p>月1度程度のお手入れ</p> <p>臭いやつまりを感じたら</p>  <p>使用推奨</p> <ol style="list-style-type: none"> ①洗剤をつけたスポンジや洗剤ブラシでこすり落とす。 ②水で洗剤を洗い流す。  <p>洗剤ブラシ 標準トラップ</p>
⑤排水パイプ (ホース)	<p>週1度程度のお手入れ</p>  <p>使用推奨</p> <ol style="list-style-type: none"> ①防臭パイプを取り外す。 ②洗い桶に1~2杯(5~10ℓ)のぬるま湯をため、食器用洗剤を混ぜる。 ③排水口に向けて勢いよく流す。

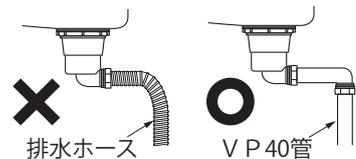
お手入れのしかた

集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点

排水管洗浄業者による排水管の集中洗浄（高圧洗浄）をする場合は、下記に注意し、洗浄する業者と打ち合わせしてください。

- 排水トラップ本体④に高い水圧をかけないでください。排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。
- 集中洗浄（高圧洗浄）機についているホースは樹脂製を推奨します。
- 高圧洗浄を行う場合は、防臭器③を取り外してください。防臭器③は反時計回りに回せば取り外せます。洗浄後は、防臭器③を時計回りに回して取り付けてください。

注意 排水ホースで接続されている場合は、高圧洗浄はできません。VP管などで直管配管している場合のみ高圧洗浄が可能です。

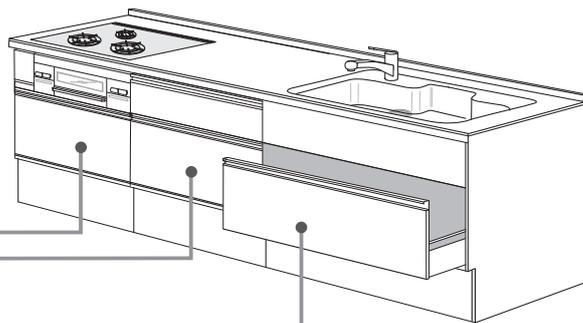


排水口周りのお手入れ方法				
月1度のお手入れ・使ってはいけない洗剤				
<p>排水パイプ用洗浄剤</p> <p>塩素系のアルカリ性洗剤</p>	<p>排水パイプ用洗浄剤</p> <p>ケイ酸塩 〔オルトケイ酸ナトリウム〕と成分表記している洗剤</p>	<p>排水口用洗浄剤</p> <p>固形または粉末の塩素系の洗浄剤 (ヌメリ取り剤など)</p>	<p>トイレ用洗浄剤など</p> <p>酸性の洗浄剤 (塩酸・硫酸・フッ酸などの強酸、研磨材入りの酸性の洗浄剤)</p>	<p>業務用洗剤</p> <p>業務用洗剤</p>
<p>✕ 使用不可</p> <p>注意 長時間の接触により、固着や変色の恐れがあります。</p> <p>万一、誤って使用した場合は、シンクや排水口本体に残らないよう、水できれいに洗い流してください。</p>	<p>✕ 使用不可</p> <p>注意 長時間の接触により、固着や変色の恐れがあります。</p>	<p>✕ 使用不可</p> <p>注意 腐食やサビの恐れがあります。</p>	<p>✕ 使用不可</p> <p>注意 サビや変色の恐れがあります。</p>	<p>✕ 使用不可</p> <p>注意 長時間の接触により、固着や変色の恐れがあります。</p>
<p>月1度程度のお手入れ</p> <p>条件付で使用可</p> <p>●使用条件 ・月1度のお手入れのみ使用する。 ・排水パイプ（ホース）以外に付着した場合は、すぐに十分な水で洗い流す。</p> <p>①排水プレート、浅型カゴ、防臭器を取り外す。 ②排水パイプ用洗浄剤を、直接排水パイプ（ホース）へ注ぎ、洗浄する。 ③洗浄後、十分に水を流す。</p>	<p>万一、誤って使用した場合は、シンクや排水口本体に残らないよう、水できれいに洗い流してください。</p>			

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.1. キャビネットの収納例

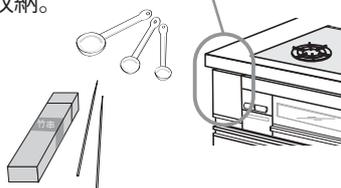
本項では、キッチンのキャビネットの収納をご紹介します。
豊富な収納量と取り出しやすさを兼ね備えたキッチンですので、
ご参照のうえ、お役立てください。
なお、キッチンには様々な形状やキャビネット構成があるため、
イラストとお客様がお使いの商品が異なる場合があります。
また、商品の種類によっては、収納できない場合があります。



コンロキャビネット

コンロ横引出し

コンロ周りで使用する小物を収納。

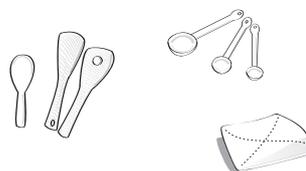


菜箸、計量スプーン、竹串、
家庭用油凝固剤

ベースキャビネット

1 段目

カトラリー、菜箸、レードルなど
を出し入れしやすい収納。



菜箸、ふきん、計量スプーン、
しゃもじ

シンクキャビネット

1 段目

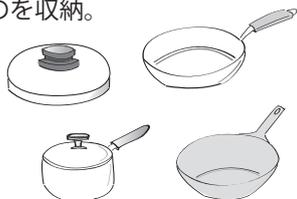
包丁、まな板、ボウルやざるなど
シンクでよく使う道具類の収納。



ボウル、ざる、計量カップ、
はかり、ふるい

1 段目

出し入れしやすいハンドエリア
には、フライパンなどよく使う
ものを収納。



両手鍋、片手鍋、中華鍋、圧力鍋、
蒸し器、卵焼き器

2 段目

毎日の料理に欠かせない調味料
や乾物などをしまうのに便利な
収納。



調理油、ゴマ油、しょうゆ、小麦粉、
パン粉、砂糖、塩

足元収納部

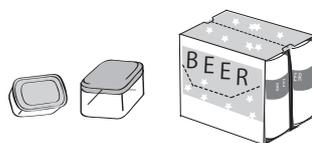
使用頻度が低い、季節使いの調理
器具を収納。



土鍋、天ぷら鍋、せいろ、
カキ氷器

足元収納部

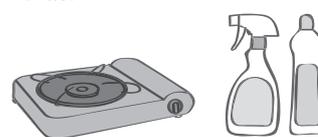
ストック用の食材類や使用頻度
の低い容器などを収納。



缶詰、ビール、ストック用
レトルト食品、樹脂容器、弁当箱

足元収納部

台所清掃用具などの日用品スト
ック品や、卓上調理器具などの家電
を収納。



スポンジ、洗剤、タワシ、漂白剤、
カセットコンロ、ホットプレートなど

ハンドエリア

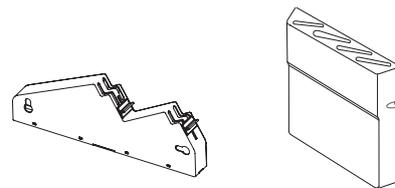
フットエリア

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.2. 包丁差し

包丁差しは2種類のタイプがあります。ご使用の包丁差しをご確認の上、お読みください。

〈ロック付斜め包丁差し〉 〈ロックなし包丁差し〉



● 使用上の注意



包丁は水気をよく拭き取ってから収納する。

必ず実行

ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。



確実に包丁を差し込む。

必ず実行

扉を引き出したときに包丁がガタつき、思わぬケガをする恐れがあります。

● 使い方

収納できる包丁の本数・大きさ

下図のサイズ以下の包丁が収納できます。

大きなサイズの包丁を収納すると引出しが閉まらない恐れがあります。

部位	収納本数	刃の長さ	刃の厚み	刃の幅
ロック付斜め包丁差し 差込口(大)	2本	210mm	8mm	55mm
差込口(小)	2本	210mm	5mm	55mm
ロックなし包丁差し 差込口(大)	1本	220mm	5mm	75mm
差込口(小)	3本	220mm	4mm	59mm

注意

- 包丁の形状によっては、上記の寸法を満たしていても収納できない場合があります。
- 包丁のサイズ、形式によっては包丁が傾いて収納され、包丁差しの底面を傷つける場合があります。

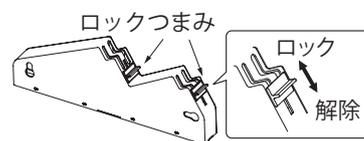
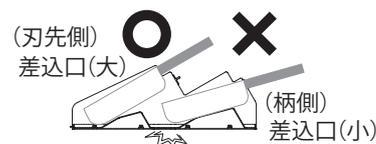
ロック付斜め包丁差しの使い方

- 包丁が4本収納できます。

MEMO

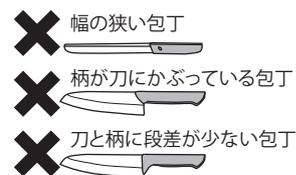
差込口は大小2タイプあります。刃の厚みがある出刃包丁などは、差込口(大)に収納してください。また、包丁の形状によって収納できないことがあります。柄側の差込口に収納できない場合、刃先側の差込口に収納できないか、ご確認ください。

- 包丁差しの上面のロックつまみを「ロック」方向(上)へずらすと、包丁が抜けなくなります。ロックを解除する場合は、ロックつまみを「解除」方向(下)へずらしてください。



注意

- サイズの小さい包丁は、幅の狭い包丁差込口に収納してください。差込口とサイズが合っていないと、ロックが掛からない恐れがあります。
- 刃と柄の部分に段差の少ないものや柄の形状によっては、ロックが掛からず、引出しを引いた際に包丁が飛び出す恐れがあります。
- ロックを掛けるときは「カチッ」というまでロック方向にずらしてください。しっかりとロックが掛からず包丁が抜ける恐れがあります。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.2. 包丁差し

ロック付斜め包丁差しの脱着・左右入れ替えのしかた

包丁差し本体のだるま穴に扉裏面の2つのピンを差し込んで固定しています。

取り外し方

1. 刃先側の固定を外す。



① 本体底面に手をかけ上に引っ張る。

② 上にあげたまま、引出しの奥側へ動かし、ピンから外す。

2. 柄側の固定を外す。



① 刃先側を斜めにして、上に引く。

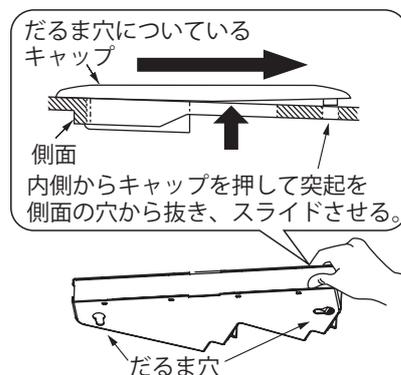
② 刃先側に押しながら、引出しの奥側へ動かし、ピンから外す。

取り付け方

取り外したときの逆の手順で取り付ける。
だるま穴の正しい位置にピンがはまると“カチッ”といえます。そこまでしっかりと押し込んでください。

MEMO

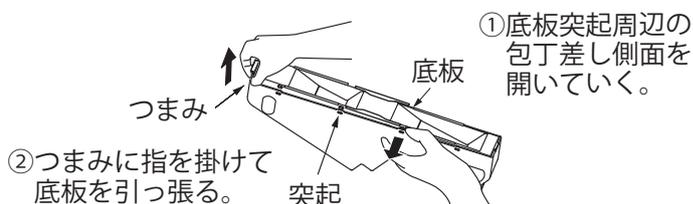
- 本体と扉の間にすき間があると、ピンがはまらない場合があります。本体を扉に押し当てながら取り付けてください。
- 包丁差しの向きを変える場合は、固定していなかった方のだるま穴についているキャップを包丁差しの内側から押しながらスライドさせて外し、反対側に取り付けてください。



ロック付斜め包丁差し底板脱着のしかた

取り外し方

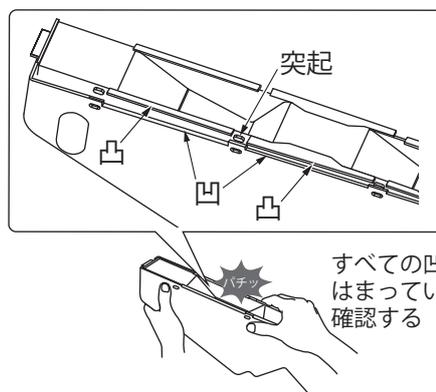
1. 包丁差しの側面を開いて、底板の突起を包丁差し側面の穴から外す。
2. 底板のつまみ（刃先側）に指をかけ、底板を外す。



取り付け方

取り外したときの逆の手順で取り付ける。

- 底板の突起を包丁差しの側面の穴に“パチッ”というまでしっかりと押し込んでください。すべての突起が側面の穴にはまっているか確認してください。
- 底板と包丁差し側面の凹凸がすき間なくはまっているか確認してください。
※凹凸の数は包丁差しの仕様により異なります。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

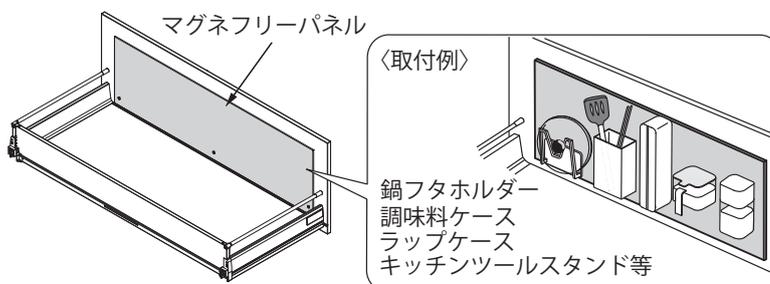
5.3. マグネフリーパネル

マグネフリーパネルはマグネットが取り付けられるパネルです。

マグネット製品を使用する場合、ペースメーカーやその他医療用電子機器類、精密な電子機器類に悪影響をおよぼす恐れがあります。ペースメーカーをご使用の方は必ず30cm以上離してご使用ください。※マグネフリーパネル単体は磁気を発していません。

注意 市販のマグネット製品をお使いになる際は、引出し開閉時の落下がないかを含め、あらかじめ保持力の確認をお客様ご自身で行ってください。万一、磁石の落下によるケガおよび損害が発生した場合、また、磁石の使用による化粧面の損傷は、当社およびその販売会社では責任を負いかねますのでご了承ください。

マグネフリーパネルは、扉裏面のお好きな位置にマグネット製品を取り付けることができるアイテムです。



使用上の注意



パネルに強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。傷などの損傷、破損の原因になります。



引出しを強く引き出したり閉めたりしない。マグネット製品が落下し、破損する恐れがあります。



硫酸・塩酸などの強酸、「酸性」の表示のある洗剤、塩素系やアルカリ性の洗剤、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤は使用しない。変質・変色・サビの原因になります。



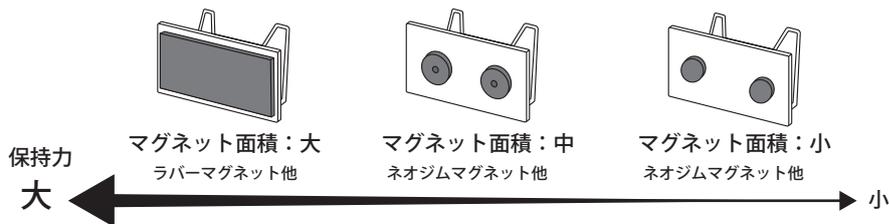
研磨材入りの洗剤やクレンザー類、メラミンスポンジ、金属タワシなどで、表面をこすらない。傷がつく恐れや、表面のつやが変わる恐れがあります。



マグネット製品はパネル部に傷がつきにくい製品を使用する。

傷などの損傷、サビや破損の原因になります。金属が直接当たるマグネット製品や硬質で強力なマグネット製品等はパネルに直接当たって傷がつきやすいためご注意ください。

MEMO 傷がつきにくく、保持力が高いため、下記のようなマグネットを推奨しています。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.3. マグネフリーパネル



必ず実行

マグネット製品に表示されている耐荷重を超えた収納物をマグネット製品に収納しない。マグネット製品を使用する前に、収納物に対して保持力が十分かを確認する。

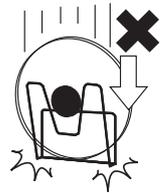
耐荷重を超えて収納物をマグネット製品に収納した際に、マグネット製品が落下する恐れがあります。また取り付ける場所によってはマグネット製品に記載されている耐荷重よりも性能が落ちる場合がありますので、ご使用前に必ず収納物を置いて、引出しを開閉した場合でも落下しないかをお客様自身でご確認ください。



必ず実行

勢いをつけて収納物を置かない。

マグネット製品の落下により、けがや製品の破損、収納物の損傷の原因になります。



必ず実行

マグネット製品を取り付ける際は、取り付ける面をよく拭いてから取り付ける。

マグネフリーパネルがぬれていたり、汚れがついたままマグネット製品を取り付けると、保持力が弱まり、落下の恐れがあります。



禁止

マグネット製品をパネルに擦りつけたり、鋭利な部位を当てない。また、破損したトレーやさびた製品を使用しない。

傷などの損傷、サビや破損の原因になります。



必ず実行

マグネット製品に収納する調理機器等はマグネフリーパネル内に必ず収める。

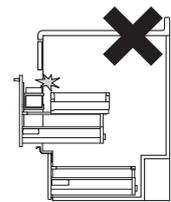
収納物がはさまり、引出しが閉まらなくなります。



必ず実行

マグネット製品は、ガス配管ガードやスライドボックスなどに当たらないもの(奥行き7cmまで)を取り付ける。

接触すると、ガス漏れや引出しが閉まらなくなる恐れがあります。



必ず実行

マグネットの接する面がたいらなマグネット製品を使用する。

滑りやすいマグネット、接する面がたいらでないマグネットは、固定できない場合があります。



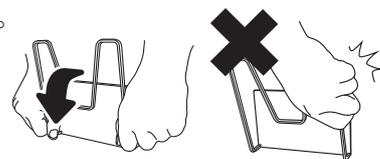
注意

引き出しの中にある収納物を出し入れする際、取り付いているマグネット製品に当たらないように注意する。

マグネット製品が外れて落下し、けがや製品の破損、内容物の散乱、収納物の損傷の原因になります。

● 使い方

- ・マグネット製品は、マグネット製品の取扱説明書をよく読んでご使用ください。
- ・マグネット製品の着脱は、マグネット製品の取扱説明書に従って正しい方法で行ってください。
- ・着脱の際は、収納物を取り出し、両手で支えながら行ってください。



注意 無理な力をかけると、マグネット製品だけでなくパネルの破損につながる恐れがあります。

収納例

マグネットアイテムをご使用时、下図を参考に貼り付けを行ってください。

	コンロキャビネット	ベースキャビネット	シンクキャビネット
取付イメージ	<p>鍋フタホルダー オイルボトル キッチンツールスタンド</p> <p>※間口62cm取付イメージ</p>	<p>ラップホルダー 調味料ケース キッチンペーパーホルダー</p> <p>※間口62cm取付イメージ</p>	<p>まな板ホルダー 斜め包丁差し</p> <p>※間口92cm取付イメージ</p>
おア すイ す て め ム	<p>鍋フタホルダー キッチンツールスタンド オイルボトル 調味料ケース など</p>	<p>ラップホルダー 調味料ケース キッチンペーパーホルダー など</p>	<p>斜め包丁差し まな板ホルダー など</p>
パ サ ネ ィ ル ズ	<p>間口47cm/62cm/77cm/92cm 高さ27cm</p>	<p>間口47cm/62cm/77cm/92cm 高さ27cm</p>	<p>間口62cm/77cm/92cm 高さ27cm</p>

● お手入れの仕方

定期的にパネル表面をお手入れしてください。マグネットの接地面に汚れや異物があると、保持力の低下につながります。

通常のお手入れ

水を含んだ布または中性洗剤をつけた柔らかい布またはスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

月に一度

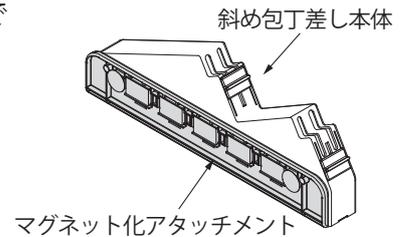
マグネット製品を取り付けている場合は、月に一度は外して接地面を清掃して取り付け直してください。

注意 ・汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなるため、気づいたらお手入れをしてください。
・長期間マグネットが接触していると、マグネットの色がパネルに移り、あとが残る場合があります。

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.4. 斜め包丁差しマグネット化アタッチメント

斜め包丁差しマグネット化アタッチメントは、斜め包丁差しに取り付ける事でマグネフリーパネルへ貼り付けることが可能になるアイテムです。



● 使用上の注意



禁止

マグネフリーパネル以外に貼り付けて使用しない。

他の場所へ貼り付けた場合、保持力不足で落下する原因になります。



禁止

引出しを強く引き出したり閉めたりしない。

斜め包丁差しが落下する原因になります。



禁止

包丁を差したまま、斜め包丁差しを移動しない。

包丁の刃に触れ、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

斜め包丁差しをマグネット化アタッチメントから脱着する際は、必ずマグネフリーパネルから取り外した後に行う。

マグネフリーパネルに傷がつき、サビや破損の原因になります。



必ず実行

ピン2カ所のだるま穴に"カチッ"というまで押し込む。

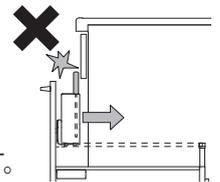
斜め包丁差しが外れて落下し、ケガや製品の破損の原因になります。



必ず実行

斜め包丁差しは、キャビネットやキャビネット内部の収納物に干渉しない位置に貼り付ける。また、包丁の柄が引出しから飛び出さない位置に貼り付ける。

斜め包丁差しが引出しに挟まったりキャビネットにぶつかると、製品の破損の原因になります。



必ず実行

斜め包丁差しは、引出し底板と平行になるようにマグネフリーパネルに貼り付ける。

傾けて取り付けると、包丁の出し入れがしづらくなります。

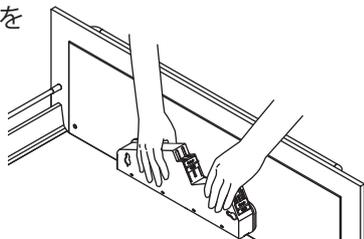
● 使い方

マグネット化アタッチメントの脱着

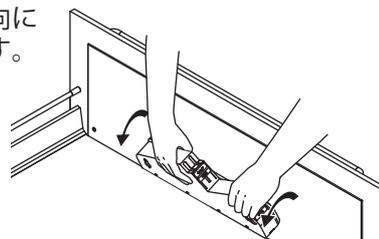
取り外し方

1. 扉からマグネット化アタッチメントごと、斜め包丁差しを取り外す。

①包丁差し上部を
両手で持つ。



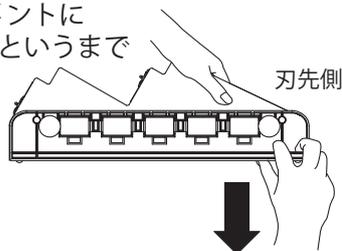
②引出しの奥方向に
包丁差しを倒す。



2. 斜め包丁差しからマグネット化アタッチメントを取り外す。

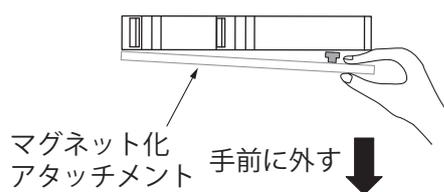
【1. 刃先側の固定を外す】

①刃先側のアタッチメントに
指をかけ“カチッ”というまで
下に引っ張る。



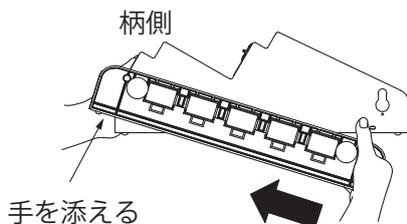
②アタッチメントを包丁差しから外す。

〈上から見た図〉



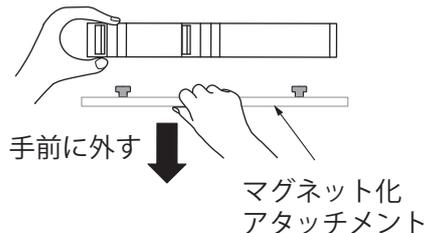
【2. 柄側の固定を外す】

①刃先側のアタッチメントを持ち、
“カチッ”というまで柄側に押す。



②アタッチメントを包丁差しから外す。

〈上から見た図〉



3. 必要に応じて下記手順を行う。

- ・包丁差しの左右入れ替え
- ・包丁差し底板の取り外し

参照 P.30 ロック付斜め包丁差しの脱着・左右入れ替えのしかた

取り付け方

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

5.5. スライドボックス付シンクキャビネット

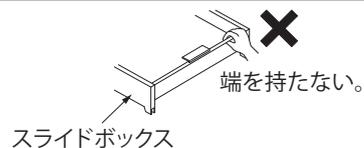
使用上の注意



必ず実行

扉を押さえながらスライドボックスの取っ手を持ち、ゆっくりと前後にスライドさせる。

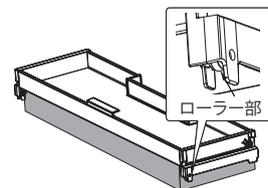
スライドボックス本体の端を持って操作したり、斜めに力を加えて引き出したりすると、脱輪して破損の原因になります。



必ず実行

スライドボックスを床に置く際は、ローラー部分が破損しないよう、かさ上げして床に置く。

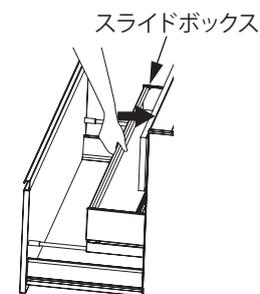
スライドボックスのローラー部（下部）をそのまま床に置くと、変形・破損する恐れがあります。



使い方

スライドボックスの使い方

- 引出しを引き出すとスライドボックスも一緒に引き出されます。
- 下段の中身を取り出したいときは、扉を押さえながら、スライドボックスの手掛け部の中央を持って、ゆっくりと後方へスライドさせてください（手前をやや持ち上げながら動かすとスムーズにスライドできます）。
- 引出しを閉めてから再度引き出すと、再びスライドボックスも一緒に引き出されます。



注意 手前を過度に持ち上げて操作すると、スライドボックスがガイドレールから外れる恐れがあります。

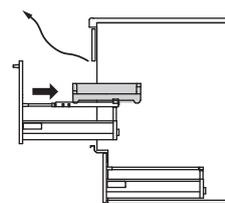
スライドボックスの脱着

取り外し方

引出しを全開させて中の収納物を取り出してから、スライドボックスの取っ手と背板を持ち、斜め上へ持ち上げる。

取り付け方

パイプカバーの凸部分とスライドボックス裏面両端にあるサイドカバーの溝部分を合わせて、スライドボックスを載せる。



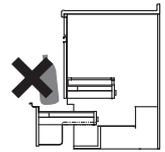
注意 パイプカバーの凸部分に確実に載っているか、確認してください。ずれていると、脱落する恐れがあります。

5.6. リフォーム配管対応シンクキャビネット

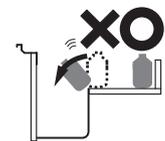
● 使用上の注意



手前ボトル収納部に固いものや重いものを落下させない。
手前ボトル収納部が変形・破損する恐れがあります。

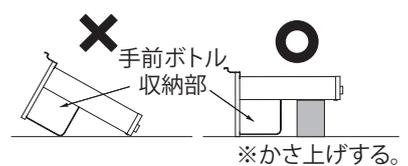


手前ボトル収納部と奥側収納部の境目に収納物を置かない。
収納物のバランスが崩れ、ボトル収納部に落下する恐れがあります。



必ず実行

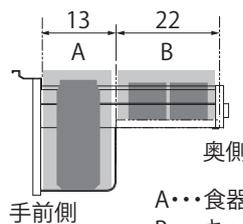
足元収納引出しを床に置く際は、ボトル収納部が破損しないよう、かさ上げして床に置く。
ボトル収納部に荷重や衝撃が加わると、変形・破損する恐れがあります。



※かさ上げする。

フットエリア収納引出し 収納物高さの目安

手前ボトル収納と奥側収納部とは高さ制限が異なります。
右表を参考に収納物の高さに注意して収納してください。



〈収納有効寸法〉 (cm)

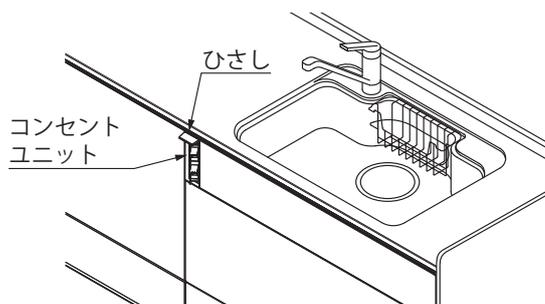
キッチン高さ	A:手前ボトル収納		B:引出し奥側	
	高さ	奥行き	高さ	奥行き
90	25	13	15	22
85	20		10	

A・・・食器用洗剤(240ml)、ビール缶(500ml)など
B・・・キッチンペーパー、ラップ等のストック品など

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.7. シンクキャビネット (コンセント付)

キッチン作業面で調理家電を使用できます。
使用時はワンタッチでコンセントを出すことができ、
使用しないときはコンセントを隠すことができます。



● 使用上の注意



差込口カバーを開けた状態や電源プラグが差し込まれたままで、コンセントユニットのフタを閉めない。

扉やコンセントユニットに傷がついたり、破損により、液体がコンセントユニット内部に浸入し、感電・漏電・火災の恐れがあります。



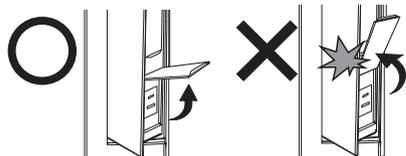
電源コードを抜き差しする際に、コンセントユニットのフタ・差込口カバー・扉などに当たらないように注意する。

扉やコンセントユニットに傷がついたり、電源プラグが当たることで、塗装がはがれる恐れがあります。



差込口カバーを開きすぎたり、力を加えたりしない。

差込口カバーやコンセントユニットが破損する恐れがあります。



● 使い方

コンセントの使い方

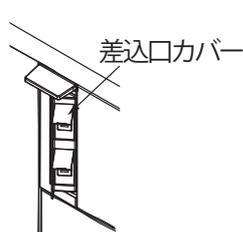
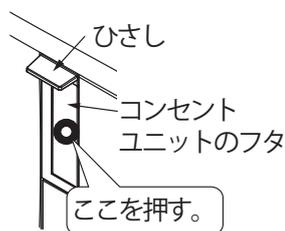
- 下図○部付近を押して、コンセントユニットのフタを開け、差込口カバーを上へ上げた状態で、調理器具の電源プラグを持ち、コンセントにまっすぐ差し込みます。(電源プラグを差し込んだ後、差込口カバーは電源プラグに沿うように、自然に下がります。)



〈コンセント
ユニットのフタ閉時〉

〈コンセントユニット
のフタ開時
(差込口カバー 閉時)〉

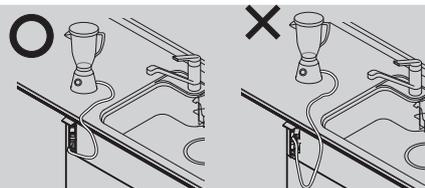
〈コンセント
差込口カバー開時〉



- コンセント使用後は、電源プラグを抜き、差込口カバーを閉じ、上図○部付近を押して、コンセントユニットのフタも閉じてください。
- コンセントは 2口合計 1500W の容量の製品が使用できます。

注意

- 電源コードが引出しや扉に掛からないよう、ワークトップの上に載せて使用してください。電源コードが掛かったまま引出しを開閉すると、コンセントユニットに負荷がかかるだけでなく、電源コードの断線などにつながる恐れがあります。
- 電子レンジ、卓上の食器洗い乾燥機など、規定以外のプラグを使用した機器には使用しないでください。
- 使用時に電源コードをひっぱりかねない機器（掃除機など）は、コンセントユニットに負荷がかかる可能性があるため、使用しないでください。



お手入れのしかた

コンセントユニット（ひさしを除く）

通常のお手入れ

綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れた場合のお手入れ

コンセントユニット（差込口を除く）の汚れは、柔らかい布に薄めたせっけん水を含ませて、硬くしぼってから、拭き取ってください。その後乾いた布でもう一度乾拭きしてください。

注意

- ・コンセントをお手入れする際は、必ず電源プラグを抜いてからお手入れをしてください。
- ・メラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れをしないでください。変色やつや・光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。
- ・コンセント差込口は水拭きせず、必ず乾いた布で汚れやホコリを拭きとってください。

ひさし

通常のお手入れ

綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れた場合のお手入れ

汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。

注意

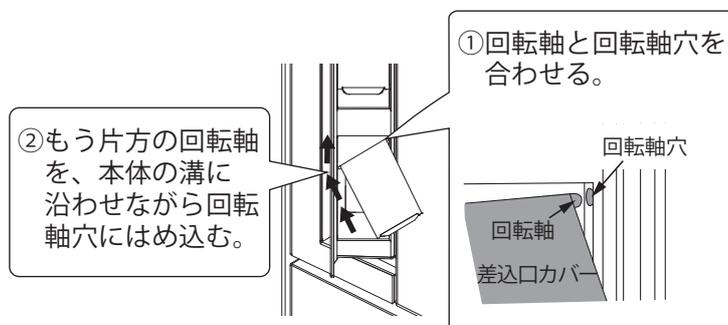
- ・メラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れをしないでください。変色やつや・光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。

こんなときは

差込口カバーの取り付け方

万が一差込口カバーが外れた場合は、下記手順に沿って取り付けてください。

1. 差込口カバーのどちらか一方の回転軸をコンセントユニット本体側の回転軸穴にはめ込む。
2. もう片側の回転軸をコンセントユニット本体側の溝に沿わせながら、回転軸穴にはめ込む。



注意

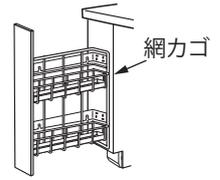
差込口カバーが取り付けられない場合は、差込口カバーの回転軸もしくは回転軸穴に不具合が生じている可能性があるため、使用を停止し、直ちにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照

アフターサービスのご用命 裏表紙

5.8. 網カゴスライドキャビネット

網カゴスライドキャビネットには、上下の網カゴに調味料の小ビンなどが収納できます。



● 使用上の注意



禁止

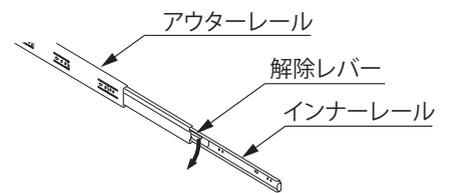
勢いよく引出しを閉めない。

故障や破損の原因になります。

● 脱着・調整のしかた

取り外し方

インナーレールについている解除レバーを下げながら (Rタイプの場合は上げながら)、レールを引き出す。



取り付け方

アウターレールにインナーレールを合わせて差し込む。
解除レバーがアウターレールに完全に隠れるまで確実に差し込む。



● 使用上の注意

● 開き扉、引出し



必ず実行

コンロキャビネットの引出しは、コンロと接触しないように調整する。
コンロと扉や取っ手がこすれて、傷の原因になります。



禁止

引出しを過度な力で勢いよく閉めない。
サイレント効果が弱まる恐れや、ブルモーション機構が破損する恐れがあります。



禁止

ギャラリパイプを持って引出しを脱着しない。
故障する恐れがあります。



禁止

引出しにものを入れすぎない。
収納物の重量や高さによっては、引出しの開閉がしにくくなったり、収納物が上の扉とぶつかったりする恐れがあります。スライドボックス付の場合、引出しには、スライドボックスとぶつからないように収納物を入れてください。

参照 2.2. 重量に関する規程 収納アイテム P.15



必ず実行

引出し内の左右のギャラリパイプやスライドボックスよりも外側に収納物が出ないようにする。
キャビネットや扉を傷つけたりする恐れがあります。



禁止

引出しを開けたまま、他の引出しを開けない。
引出しが自重で下がったり、左右のブレによって、扉どうしが干渉し、破損の恐れがあります。

● 引出しの脱着のしかた

注意

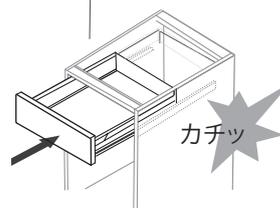
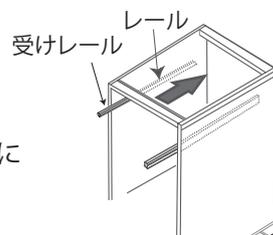
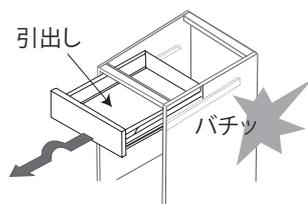
引出しを外すときは、収納物を出してから外してください。予想以上に重い場合があります。

取り外し方

1. 引出しに入っている収納物を全て取り出す。
2. 引出しをストップするところまで引き出す。
3. 少し持ち上げて（“バチッ”と音がしてロックが外れる）、レールと平行に静かに引き出す。

取り付け方

1. 受けレールを奥まで入れる。
2. 引出しの奥 1/3 くらいを受けレールに載せ、レールと平行に静かに奥まで押す（“カチッ”と音がしてロックが掛かる）。
3. 3～4回引出しを開閉させ、引出しのブルモーション機構がしっかりと作動することを確認する。



樹脂引出しの場合

取り外し方

引出しをストップするところまで引き出し、持ち上げながら引く。

取り付け方

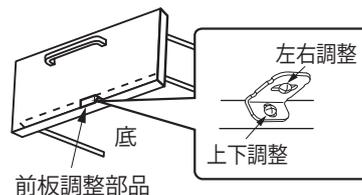
上記手順と逆の手順で取り付ける。

前板の調整のしかた

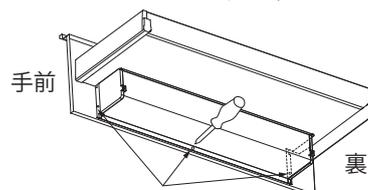
注意 ねじのゆるめすぎには気をつけてください。
引出し前板が落下して、ケガをする恐れがあります。

キャビネットの間口 60cm以上の引出しには、前板裏面と引出し底板に前板調整部品がついています。ねじをゆるめてから下記の手順で調整を行い、調整後は必ずねじを締め直してください。

リフォーム配管対応シンクキャビネットのフットエリア収納の場合は、前板調整部品はありません。右図位置のねじをゆるめてから下記の手順で調整を行い、調整後は必ずねじを締め直してください。



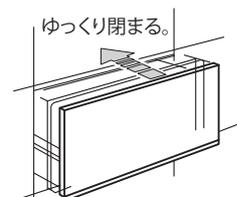
〈リフォーム配管対応シンクキャビネット〉



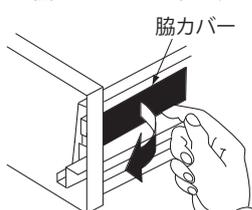
調整する前にねじをゆるめる。
調整後はしっかり締め直す。

サイレントレール引出しの場合

- 引出しのブルモーション機構は、収納量により、引出しが閉まる作動が変わりますが、故障ではありません。
- 引出しのブルモーション機構は、勢いよく閉めると、機能が十分に働かない場合があります。また、閉める強さが弱すぎると、途中で止まってしまう場合があります。どちらも故障ではありません。収納量に応じて適度な強さで閉めてください。



1. 脇カバーを外す。

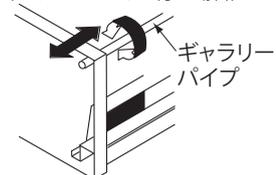


脇カバー下側を上
押し上げ気味に外
します。

2. 調整する方向によって、下図のようにねじを回す。

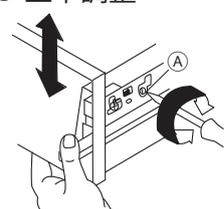
● 前板傾き調整

(ギャラリーパイプ付の場合)



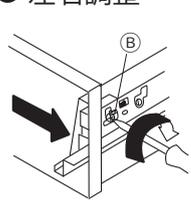
ギャラリーパイプを左に回すと
手前に、右に回すと奥に傾きます。

● 上下調整



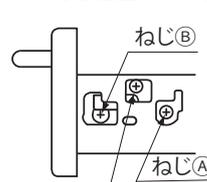
ねじ(A)を左右に回し
て調整します。

● 左右調整



ねじ(B)を手前側に回すと左に
奥側に回すと右に動きます。

〈ねじ位置の拡大図〉



引出し前板
脱着ねじ

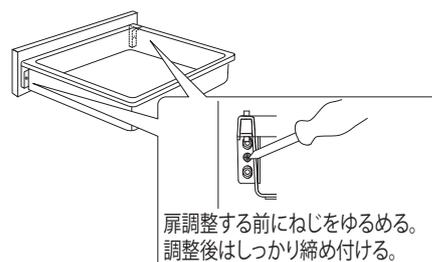
3. 調整後、脇カバーを戻す。

注意 コンロキャビネットの引出しは、コンロと接触しないように調整してください。コンロと扉や取っ手がこすれて、傷の原因になります。

- 引出し前板の左右両端とキャビネットの外側との間隔が 1mm以上になるよう左右調整してください。
- 引出し前板とキャビネットが平行になるように調整してください。

樹脂引出しの場合

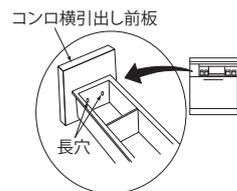
- 引出し外側の引出し前板を固定しているねじを、⊕ドライバーでゆるめ、引出し前板を調整する。
- 調整後、1. でゆるめたねじを締め直す。



コンロ横引出しの場合

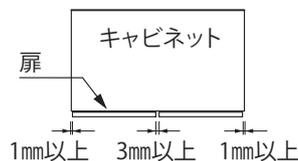
コンロ横引出し前板を固定しているねじは長穴になっていて、前板の上下調整をすることができます。

ねじをゆるめて調整してください。その後、必ずねじを締め直してください。

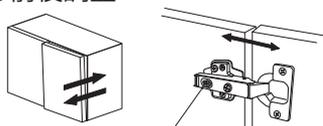


開き扉の調整のしかた

- 調整前に丁番、座のゆるみがないことを確認してください。ゆるみがある場合は、丁番と座を取り付けているねじをしっかり締め付けてください。
- 扉の左右両端とキャビネットの外側との間隔が1mm以上になるよう左右調整してください。また、左右両開き（観音開き）扉の場合は、扉と扉のすき間が3mm以上になるようにしてください。
- 扉面とキャビネットが平行になるように調整してください。



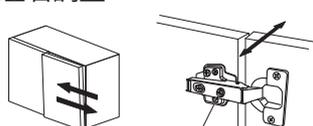
●前後調整



前後調整ねじ①

ねじ①をゆるめ、扉の前後を合わせた後、ねじ①を締め直します。

●左右調整



左右調整ねじ②

ねじ②を右に回すと扉が外側に、左に回すと扉が内側に動きます。

●上下調整

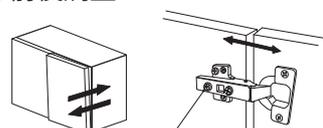


上下調整
ねじ③

ねじ③をゆるめて扉を上下に調整した後、ねじ③を締め直します。

〈カゲタス収納の場合〉

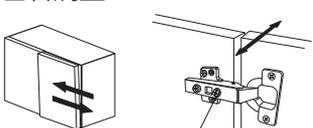
●前後調整



前後調整ねじ①

ねじ①を左に回すと扉が前に、右に回すと扉が後ろに動きます。

●左右調整



左右調整ねじ②

ねじ②を右に回すと扉が外側に、左に回すと扉が内側に動きます。

●上下調整



上下調整
ねじ③

ねじ③をゆるめて扉を上下に調整した後、ねじ③を締め直します。

注意 ねじのゆるめすぎには気をつけてください。扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

5.9. 開き扉・引出し・棚板・配管プレート

その他の調整、脱着のしかた

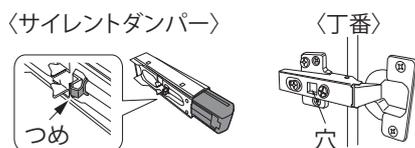
丁番のお手入れ

- ・ 丁番はときどき汚れやほこりを取り除いてください。
- ・ 潤滑油などをときどき注油していただくと、開閉がなめらかになります。

注意 潤滑油などが扉につかないように気をつけてください。扉などに油が染み込み、変色する恐れがあります。

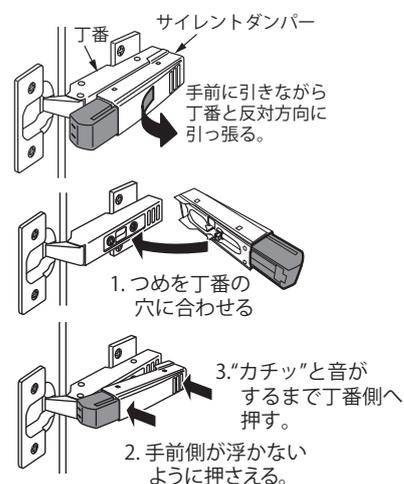
サイレントダンパーの脱着

※サイレントダンパーは機構上、すべての丁番にはついていません。扉の片側(上部または下部)、もしくは扉の大きさや扉の種類によっては両側(上部および下部)についている場合があります。サイレントダンパーを外したときは、必ず元の丁番に取り付けてください。



サイレントダンパーを手前に引きながら、手前側を丁番と反対方向に引く。

1. サイレントダンパーの裏面のつめが、丁番の長方形の穴に入るように合わせる。
2. 手前側が浮かないようにしっかり押さえる。
3. 奥側を“カチッ”と音がするまで丁番側に押し込む。



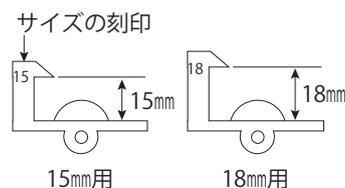
注意 サイレントダンパーを脱着する際は、必ずこの方法で行ってください。無理に脱着するとサイレントダンパーのつめが変形し、落ちて、ケガをする恐れがあります。

棚板の脱着

取り外し方

1. 前側の左右の棚受けダボのつめ部分を、棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで、手前へ強く引く。
2. 棚板を前へ引いて取り外す。

注意 棚受けダボは、棚板の厚さ(15mm、18mm)によってサイズが異なります。必ず棚板と組み合わせて使用、保管してください。棚受けダボのサイズは、ダボ横に刻印されています。



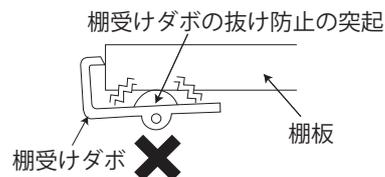
取り付け方

1. 図のように、棚受けダボを棚受けダボ穴に根元まで差し込む。

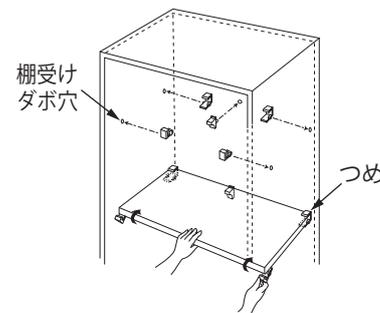
幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

注意

- ・差し込みが浅いと、棚板が棚受けダボの抜け防止の突起部分に当たり、棚受けダボが破損する恐れがあります。
- ・棚板をセットするときは、棚受けダボにある「抜け防止の突起」を变形させないでください。棚板のガタつきの原因になります。



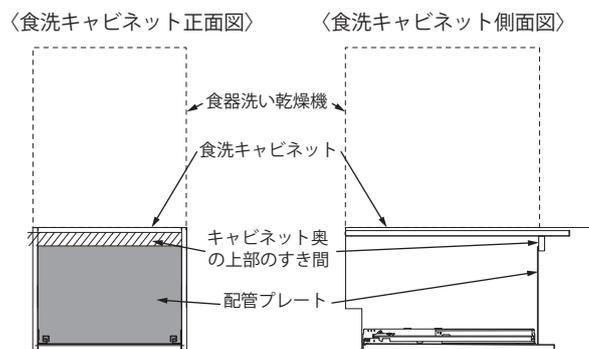
2. 後ろ側の棚受けダボのつめに、棚板をしっかりとはめ込む。
3. 棚板を押さえながら、前側の棚受けダボを下から強く押し上げる。つめが棚板にはめ込まれ、「パチン」という音がするまで押し上げてください。
4. 棚板にガタつきがないか、確認する。ガタつきがある場合は、取り付け直してください。

**扉開放防止部品の使い方**

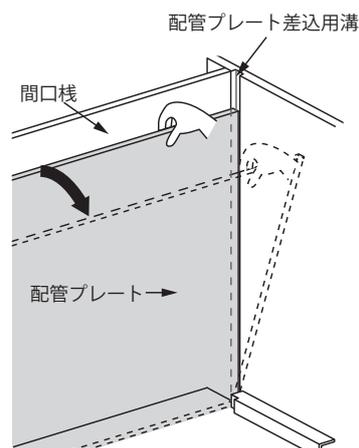
- ・扉開閉防止部品は、地震などの揺れにより、ロック機構が動き、扉が開かなくなります。使用環境、または状況など（建物の構造・階数、吊戸棚の収納状態、振動の大きさ・性質）により、性能を十分に発揮できない場合がありますので、ご注意ください。なお、収納物の破損など（損害）については、補償の対象になりません。
- ・地震が終わり、揺れが止まると、自動的にロックが解除されます。ただし、収納物が扉を押した状態でロックされたままになっている場合は、収納物が破損しないように扉を奥へ静かに閉めてください。
- ・扉を開ける際は収納物が出てくることもありますので、ご注意ください。

食器洗い乾燥機専用キャビネット 配管プレートの脱着**取り外し方**

1. キャビネット奥の上部のすき間から配管プレートの端をつまみ、手前に引き、左右の配管プレートの溝から外す。
2. 配管プレートを手前に引き、キャビネットから取り出す。

**取り付け方**

取り外したときの逆の手順で取り付けます。



6.1. 吊戸棚

● お手入れのしかた

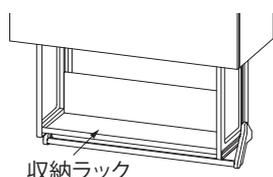
吊戸棚収納の各アイテムについて、特に記載がない場合は次の方法でお手入れをしてください。

- ・ 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・ 汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落としてください。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で乾拭きしてください。

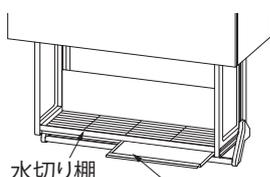
6.2. ハンドムーブ

ハンドムーブは、調理道具や調味料、食器類などを収納できる上下可動式の収納ラック付吊戸棚です。

- ・ 収納棚タイプは、調味料やキッチンペーパーなどを収納できます。
- ・ 水切りタイプは、洗った食器や調理道具などを収納できます。

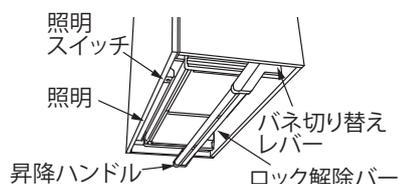


収納ラック



水切り棚

水受けトレイ



照明
スイッチ

照明

バネ切り替え
レバー

昇降ハンドル

ロック解除バー

● 使用上の注意



禁止

棚やラックが降りてくる範囲には、背の高いものを置かない。

収納ラックとぶつかり、破損する恐れがあります。



禁止

棚に衝撃を与えるように、勢いよくものを置かない。ものを引きずらない。

傷や破損の原因になります。



禁止

棚にぬれた包丁・缶詰などの金属製品、塩・しょうゆを長時間放置しない。

もらいサビを引き起こす恐れがあります。



必ず実行

昇降操作はハンドルの中央を持ってゆっくり行う。

端を持つと、レールが変形し、異音、破損の原因になります。また、勢いよく引き出すと、収納物の落下や、機構部の故障の原因になります。



禁止

収納物や水受けトレイがはみ出したまま昇降させない。

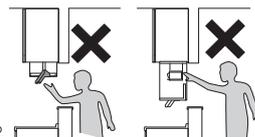
収納物の落下によるケガや、ラック、キャビネットの破損の恐れがあります。



禁止

対面側からラックを上下操作しない。対面側から収納物を取り出さない。

ケガや破損の原因になります。収納ラックの操作は、キッチン側から行ってください。



必ず実行

お手入れの際は、収納重量とバネ切り替えレバーを目安の設定に合わせ、降ろしきった状態で行う。

手をはさみ、ケガや破損の原因になります。



禁止

お手入れの際は、ロック解除バーを手前に引かない。

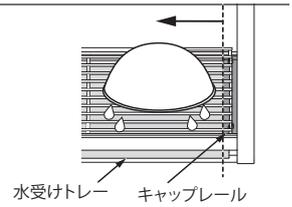
手をはさみ、ケガや破損の原因になります。



必ず実行

水切りタイプにぬれたものを収納する場合、水受けトレイ内に納まるようにする。

水受けトレイおよびキャップレールより外側に置くと、収納庫の端から水が垂れる恐れがあります。

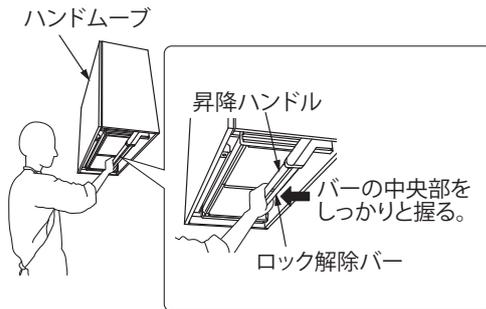


禁止

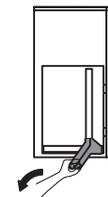
ラックの背板に収納物を強くぶつけない。

庫内が変形して、水が垂れる恐れがあります。

ハンドムーブの使い方

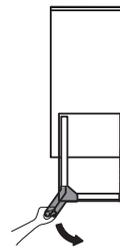


① ゆっくり手前に引く。



完全に引ききる。

② 押しながら下げる。



【降ろしきった状態】



上げる場合は、②→①の順にゆっくり操作してください。

MEMO

- ・操作感は収納物の量や間口、バネ切り替えレバーの設定により異なります。
- ・収納庫全体の最大収納量は約 8kg です。
- ・収納できる大きさは高さ 35cm、奥行き 23cm までです。
- ・収納物の重さがかたよらないように、均等に収納してください。

注意

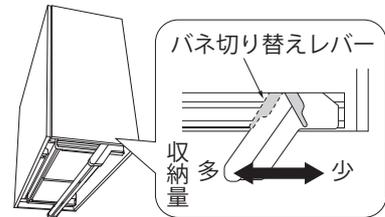
- ・食器や調理器具などにたまった水気をあらかじめ捨ててからしまってください。
- ・ぬれたまな板や洗ったものを背板に密着させて収納した場合に、背板や側板を伝って庫外に水が垂れることがあります。

バネ切り替えレバーの調節

収納物の重さに応じて、表を目安にバネ切りレバーを調節してください。収納物の出し入れの後には、必ず操作性を確認して、必要があれば調節してください。

MEMO

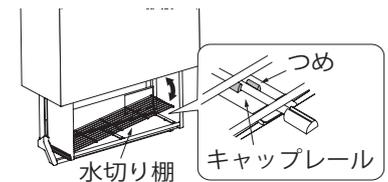
- ・使い始めや、何も収納物が載ってないときは、バネ切り替えレバーを左右とも「小」の位置にしてから、引き下げてください。それ以外の位置では、操作が重く感じます。
- ・収納ラックが下がっているときには、レバーは切り替えできません。収納ラックを上げきってから、レバーを調節してください。



収納重量 (目安)	左レバー	右レバー
0 ~ 4 kg	少	少
4 ~ 7 kg	少	多
	多	少
7 ~ 8 kg	多	多

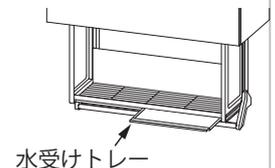
水切り棚の脱着

ゆっくりとキャップレールから外してください。取り付ける場合は、キャップレールのつめにしっかりと押し込んでください。



水受けトレイの脱着

両手で持ち、ゆっくりと手前にスライドさせ、外してください。



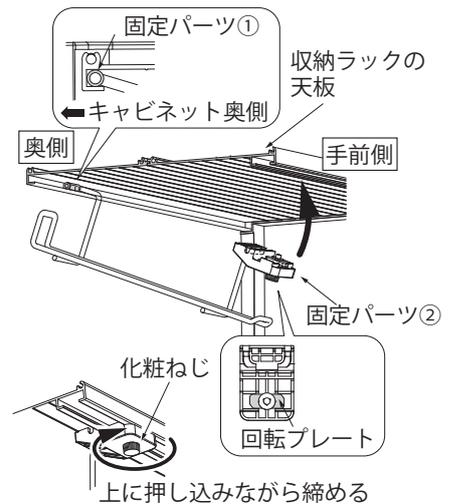
6. 収納アイテムの使い方-吊戸棚

6.1. ハンドムーブ

ラックの脱着（皿立てラック・カトラリーラックを除く）

取り付け方

1. 上棚板裏面の奥側にあるラック取付溝に固定パーツ①を下方からはめ込む。
固定パーツ①をはめ込む際は、右図を参照して向きに注意してください。
2. 回転プレートが手前にあるラック取付溝に平行であることを確認し、固定パーツ②を下方からはめ込む。
3. 固定パーツ②の化粧ねじを上押し込みながら締め、ラックを固定する。
ラックの化粧ねじは確実に締め、固定パーツ①②が外れないことを確認してください。



取り外し方

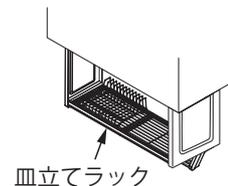
化粧ねじを上押し込みながら、逆の手順で取り外す。

皿立てラックの脱着

水切り棚の目に合わせて置いてください。

MEMO

収納庫のたわみを避けるため、皿立てラックをご使用の際は、収納庫の中央付近への設置は避け、左右どちらかに寄せてご使用ください。中皿、大皿（直径23cm）11枚まで収納できます。



カトラリーラックの脱着

カトラリーラックは水切り棚に取り付けて、箸や、スプーン、フォークなどのカトラリー類を収納することができます。カトラリーラックの脱着はハンドムーブ水切り棚の縦線材間の中央部で行ってください。

取り付け方

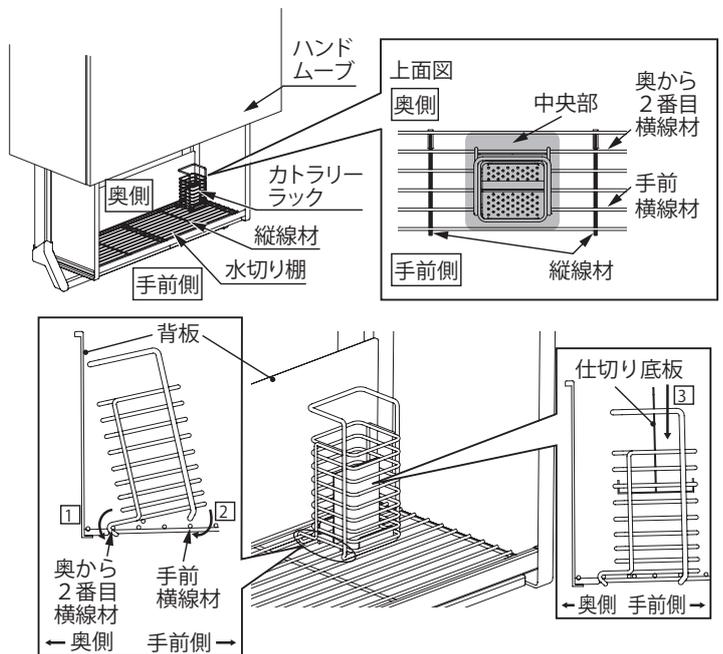
1. カトラリーラックのフック形状の脚を水切り棚の奥から2番目の横線材に引っ掛ける。
2. カトラリーラックの手前側の脚を本体を手前に引きながら水切り棚の手前の横線材にはめ込む。
3. 仕切り底板を上部から入れる。

取り外し方

取り付けのときと逆の手順で取り外す。

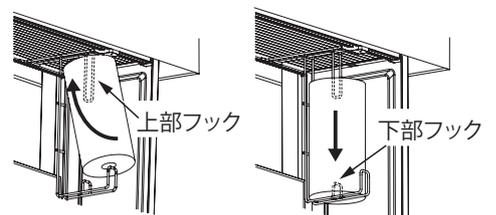
MEMO

- ・構造上、固定が固くなり、取り外しにくい場合があります。必ず、水切り棚を押さえながら取り外してください。
- ・カトラリーラックの脱着はラック内および収納庫内の収納物を取り除いてから行ってください。
- ・収納する際は、ハンドムーブ本体から収納物が出ないように収納してください（収納物長さ制限：30cm）。



ペーパーホルダーの使い方

1. ペーパーホルダーの上部フックにキッチンペーパーを下方からはめ込む。
2. キッチンペーパーを奥側の下部フックにはめ込む。



7. 収納アイテムの使い方ーキッチン周辺収納

7.1. システムスライド収納

システムスライド収納は、食器の収納などに便利な収納力の高い収納庫です。扉には閉めるときの音や衝撃をやわらげるダンパー機構がついています。

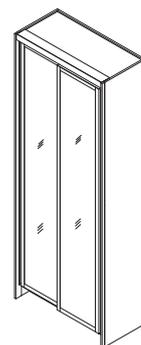
● 使用上の注意



必ず実行

扉を開く際は、開く反対側の扉が閉まりきった状態であることを確認し、ゆっくりと開く。

引き違い防止金具に強い衝撃を与えると、異音や破損の原因となります。



● お手入れのしかた

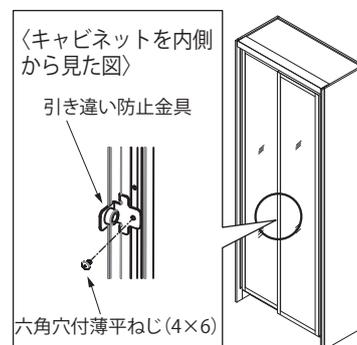
シースルー扉の半透明板は、プラスチックです。汚れた場合は、傷を避けるため、ほこりなどは柔らかいハケで払い落とし、綿などの柔らかい布で拭いてください。

扉の裏面をお手入れする場合

1. 右扉の取手中央部裏側に取り付けられている引き違い防止金具を取り外す。
引き渡し時に保管頂いている六角レンチ（2mm）を用いて取り外してください。
2. 左右の扉を引き違いにし、扉の裏面を拭く。
3. 清掃が終わったら、引き違い防止金具を元の位置に取り付け直す。

注意

- ・扉の引き違い時には、指はさみに十分注意してください。
- ・引き違い防止金具は、指はさみを防止するために必要な部品です。お手入れした後は、必ず取り付けて使用してください。

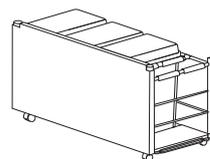


7. 収納アイテムの使い方ーキッチン周辺収納

7.2. リサイクルゴミワゴン

リサイクルゴミを分別するのに便利なゴミワゴンです。

MEMO ワゴンのキャスターによるワックスのはがれが目立つ場合があります。



● 使用上の注意



ポリ袋ストッパーと仕切りバーをワゴンの持ち手として使用しない。
ポリ袋ストッパーと仕切りバーが取れる恐れがあります。



必ず実行

ゴミを入れたまま長時間放置しない。臭いの気になるゴミは、新聞にくるんだり、ビニール袋に入れたりして、こまめに捨てる。
悪臭の原因になります。



禁止

生ゴミは収納しない。
悪臭の原因になります。



必ず実行

ゴミ箱のフタが閉まっていることを確認してから、キャビネットに収納する。
フタが開いている状態で収納しようとすると、フタが破損します。



禁止

ワゴンの出し入れ時に、収納するキャビネットや隣接するキャビネットに強く当てない。
破損や傷の原因になります。



禁止

キャスターにゴミや汚れがついた状態で使用しない。
床材に傷や汚れがつく恐れがあります。

● 使い方

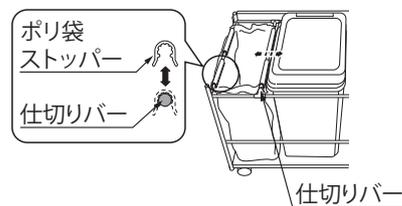
リサイクルゴミワゴンの使い方

- リサイクルゴミを収納する場合は、汚れたものや水分が付着しているものは、汚れを落として、乾燥させてから収納してください。
- ワゴンの開閉時は、両手で前板上部を持ちながら引き出してください。ワゴンが左右にぶれず、引き出しやすくなります。

ポリ袋の止め方

間口75、90cmのリサイクルゴミワゴンには、ポリ袋を固定するのに便利なポリ袋ストッパーがついています。

- ポリ袋ストッパーの脱着がしやすいように、仕切りバーを横にスライドさせる。
- ポリ袋ストッパーを上引っ張って外す。
- 右図のようにポリ袋を広げて、袋の端をはさむようにポリ袋ストッパーで止める。



7. 収納アイテムの使い方ーキッチン周辺収納

7.3. 家電収納庫

電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカーを置くことができます。



● 使用上の注意



禁止

スライド台を手前へ引き出した状態で、無理な力をかけない。

破損の原因になります。



禁止

家電の電源コードをスライド台のレールにはさまない。

断線、感電の原因になります。

家電収納庫の使い方

- スライド台レールには、動き防止のためのストッパーがついています。スライド台を奥まで収納したときと、手前まで引き出したときに炊飯器などの家電の操作などで、スライド台を動かないようにするためのストッパーです。
- 使用する際は、奥まできちんと収納し、または手前まできちんと引き出し、ストッパーが働いていることを確認してください。
- 家電収納部の収納有効寸法は右図をご参照ください。

〈家電収納部収納有効寸法（単位：cm）〉

キャビネット 間口	蒸気排出 ユニット	収納部		
		高さ	間口	奥行き
60	あり	35	54	35
	なし	44		
75	あり	35	69	
	なし	44		
90	あり	35	84	
	なし	44		

● 蒸気排出ユニット付タイプ

- スライド台をキャビネット内に収納したままで炊飯・沸騰ができます。
- 蒸気排出ユニットの使い方は、付属の取扱説明書をお読みください。

● 蒸気排出ユニットなしタイプ

- 炊飯・沸騰などを行うときは、スライド台をキャビネットから引き出した状態で使用してください。

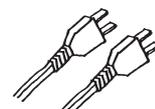
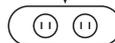
● 付属のコンセントは下記の容量の製品が使用できます。

- 蒸気排出ユニットなしの場合・・・2口合計 1500W
- 蒸気排出ユニット付の場合・・・各口 1480W

注意

電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器、電子レンジは置かないでください。

表示容量を超える製品を使わない。

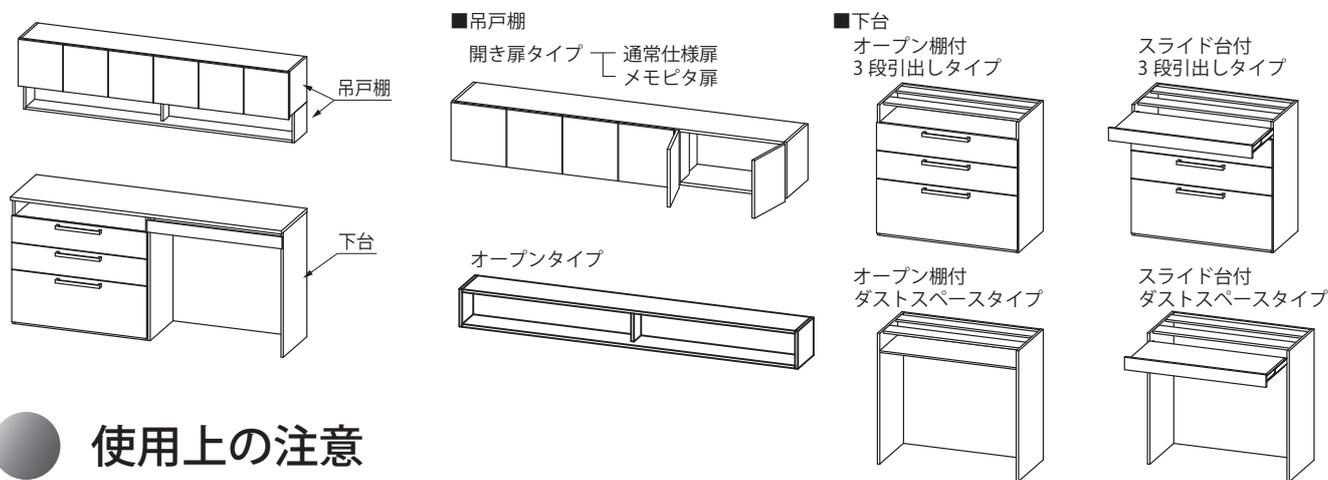


7. 収納アイテムの使い方ーキッチン周辺収納

7.4. カグタス収納

カグタス収納は、キッチン、リビング、ダイニング、どの空間にも馴染みやすい家具らしい外観に、家事動線を考慮した機能が満載の収納庫です。吊戸棚は空間に圧迫感を与えないサイズ感で、奥まで手が届きやすい設計です。メモピタ扉の場合は、レシピのメモ等をマグネットで貼ることができます。

下台は、家事の作業補助スペースとして必要なときのみ引き出して使えるカウンター下スライド台や、カウンター上に散らかりがちな雑多なものをサッと一時的にしまうことのできるカウンター下のオープン棚が特長です。



● 使用上の注意

● 吊戸棚 開き扉タイプ メモピタ扉



必ず実行

扉1枚に対して取り付けるマグネット製品の総重量は1kg以内にする。

扉戸先の垂れ、扉同士の干渉の原因となります。



必ず実行

市販のマグネットを使用する場合は、収納物の重さに耐えられる保持力があるか確認してから使用する。
扉の開閉時にマグネットがズリ落ちたり、落下しないか確認してから使用する。

マグネットが落下してケガをしたり、下台のカウンターが破損する場合があります。
また重量を守らないと扉の落下やケガ、家財が損傷する恐れがあります。



禁止

扉には鋭利なもの、落下した際に割れる可能性があるものを貼り付けない。

落下した際にケガをしたり、マグネット製品や床・キャビネットのキズ・破損につながる恐れがあります。



禁止

扉にはフックタイプのマグネットを使用しない。

フックタイプのマグネットに収納物を吊り下げると扉の開閉時に振り子運動で落下したり、吊り下げた収納物が扉に当たり傷や破損につながる恐れがあります。



禁止

マグネットを扉に貼り付けたまま引きずらない。

扉表面に傷がつく恐れがあります。



必ず実行

扉の開閉時に、取り付けたマグネット製品が、扉に取り付けた他のマグネット製品や隣接するキャビネット、家電製品に当たらない位置であることを確認する。

ぶつかった際にマグネット製品、キャビネット、家電製品の傷や破損につながったり、収納物が落下する恐れがあります。



必ず実行

市販のマグネットを使用する場合は、扉表面に傷がつかないか十分に確認してから使用する。

ラバー製のマグネット等、取り付けた際に扉表面に傷が付きにくい製品の使用を推奨します。

●下台 スライド台付



スライド台を手前へ引き出した状態で、台に手をついたり、力をかけた作業を行わない。

破損の原因になります。スライド台は食器、食材の一時置き等、力をかけない用途でお使いください。



スライド台には熱い鍋、重いもの、包丁、重心が不安定なものを載せない。

鍋や包丁、食器などが落下してケガややけどをする恐れや、ものが破損する恐れがあります。



使用しないときはスライド台を奥まで収納する。

必ず実行

スライド台を引き出したままにしていると、スライド台にぶつかりケガや破損の恐れがあります。

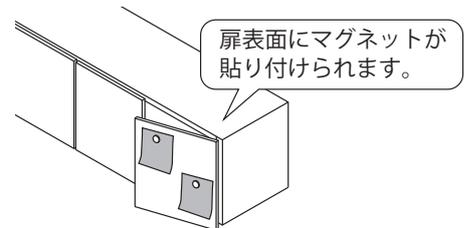


引出しの開閉時は足元に注意して開閉する。

足の指をはさみ込んで、ケガをする恐れがあります。

吊戸棚 開き扉タイプの使い方

扉がゆっくりと閉まるサイレントダンパー付きです。扉を閉める際に途中で静止してしまう場合は、扉に軽く手を添えて閉めてください。



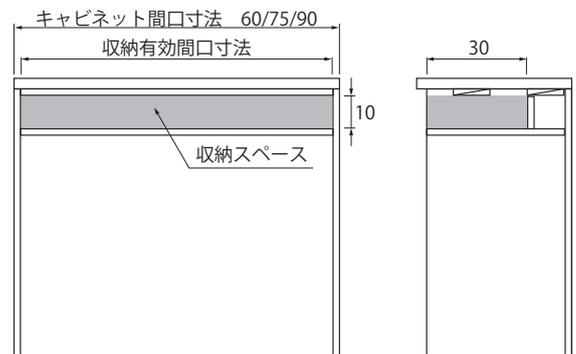
吊戸棚 開き扉タイプ メモピタ扉の使い方

扉にレシピのメモやスケジュール表などをマグネットで貼り付けておくことができます。

下台 オープン棚付タイプの使い方

〈収納有効寸法〉 (cm)

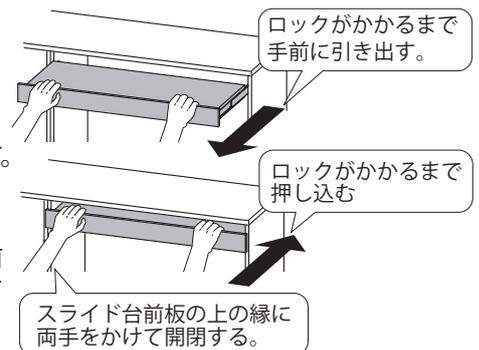
下台		オープン棚 収納有効寸法		
キャビネット	間口	間口	奥行き	高さ
60	56.5	30	10	
75	71.5			
90	86.5			



※イラストはオープン棚付ダストスペースタイプの場合。

下台 スライド台付タイプの使い方

- スライド台は、家事の作業補助として、食器や食材の一時置きの用途でお使いいただけます。手をついたり力をかけた作業でのご使用は避けてください。
- スライド台レールには、動き防止のためのストッパーがついています。スライド台を奥まで収納したときと、手前まで引き出したときにスライド台を動かないようにするためのストッパーです。
- 使用時以外はスライド台を奥まできちんと収納し、使用時は手前まできちんと引き出し、ストッパーが働いていることを確認してください。



注意 電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器、電子レンジはスライド台上に置かないでください。

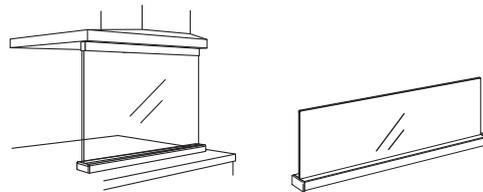
8. その他部材

8.1. フロントスクリーン

フロントスクリーンは、コンロから発生した油や煙がダイニング側へ流入するのを軽減します。

〈ハイタイプ〉

〈ロータイプ〉



● 使用上の注意



禁止

金属タワシや粒子の粗いクレンザーでこすらない。

傷がつく恐れがあります。

● お手入れのしかた

- ・ 汚れは、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて洗ってください。洗った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で十分に水気を拭き取ります。
- ・ フロントスクリーン（ハイタイプ）のダイニング側のガラス面は飛散防止フィルム貼りです。キッチン側のガラス面に比べ傷がつきやすいため、清掃時は気を付けてください。汚れた場合は、傷を避けるため、ほこりなどは柔らかいハケで払い落とし、綿などの柔らかい布で拭いてください。

8.2. 照明器具

● 使用上の注意



禁止

照明器具は、使用中、使用直後は照明の表面温度が高くなっているため、素手で触らない。

やけどをする恐れがあります。



禁止

LED 照明を長時間直視しない。

LED 照明は輝度が高く、指向性が強いので、目を傷める恐れがあります。



禁止

LED 照明を取り外したり、分解したりしない。

器具の破損や火災の恐れがあります。

LED 照明について

- ・ LED 照明は、約 4 万時間の点灯で、約 70% の照度になります。
- ・ LED 照明には光のバラつきがあるため、発光性・明るさが異なる場合があります。
- ・ 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用すると雑音が入る場合があります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、向きを変えてください。

● お手入れのしかた

- ・ 明るく安全に使用していただくために、照明カバーを定期的（6カ月に1回程度）にお手入れしてください。
- ・ 照明カバーについての汚れは、柔らかい布に薄めたせっけん水を含ませて、硬くしぼってから、拭き取ってください。その後、乾いた布でもう一度器具を乾拭きしてください。

8.3.CA ボード・マグネット対応壁パネル

マグネット対応壁パネルはマグネットが取り付けられるパネルです。

マグネット製品を使用する場合、ペースメーカーやその他医療用電子機器類、精密な電子機器類に悪影響をおよぼす恐れがあります。ペースメーカーをご使用の方は必ず30cm以上離してご使用ください。※マグネット壁パネル単体は磁気を発していません。

注意

- 市販のマグネット製品をお使いになる際は、表示されている耐荷重の25～35%程度になります。あらかじめ保持力の確認をお客様自身で行ってください。万一、磁石の落下によるケガおよび損害が発生した場合、また磁石の使用による化粧面の損傷は、当社およびその販売会社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- マグネット対応壁パネル表面の微細な凹凸、水気、汚れの状態、ご使用になるマグネットの仕様や面積によっては、同じパネル内でも部分的にマグネットが滑りやすくなる場合があります。

使用上の注意

● CA ボード・マグネット対応壁パネル共通



パネル部にテープ類や吸盤を取り付けない。

はがすときに、表面シートがはがれる恐れがあります。



パネル部に強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。

傷などの損傷が生じる恐れがあります。



パネル部は粒子の粗いクレンザー類や金属タワシなどで、表面をこすらない。

傷がつく恐れがあります。



家庭用ワックス、漂白剤・硫酸、塩酸などの強酸、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、強アルカリ、弱酸性洗剤を使用しない。

変色の原因や塗装がはがれる原因になる場合があります。



パネル部はマジック、ホワイトボード用マーカーなどを使用しない。

マジックの色が残る恐れがあります。

● マグネット対応壁パネル



必ず実行

市販のマグネットを使用する場合は、マグネットがズリ落ちたり、吊り下げるものが落下しないか確認してから使用する。

マグネットが落下してケガをしたり、カウンターが破損する場合があります。



必ず実行

市販のマグネットを使用する場合は、パネル部に傷がつかないか十分に確認してから使用する。

市販のマグネットを使用する場合、パネルに傷がつく恐れがあります。



必ず実行

マグネットを取り付けるときは、加熱機器や電子レンジなどの離隔距離を守って設置する。

加熱調理機器から15cm離してください。(間口75cm相当のトッププレートの場合は7.5cm以上) 電子レンジなどその他の機器の離隔距離については、ご使用の機種取扱説明書をご参照ください。



必ず実行

マグネットを取り付けるときは、水栓や昇降吊戸棚が当たらない位置であることを確認する。

マグネットや水栓、昇降吊戸棚の傷や破損、収納物が落下する恐れがあります。

8.3.CA ボード・マグネット対応壁パネル



必ず実行

市販のマグネットを使用する場合、マグネットの接する面が平らなマグネットを使用する。

マグネットの保持力の目安が、耐荷重の約 25～35%程度になります。滑りやすいマグネット、接する面がたいらでないマグネットは、固定できない場合があります。



必ず実行

マグネット製品を取り付ける際は、取り付ける面をよく拭いてから取り付ける。

マグネット対応壁パネルがぬれていたたり、汚れがついたままマグネット製品を取り付けると、保持力が弱まり、落下の恐れがあります。

● お手入れのしかた

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とします。次に、水を含んだ柔らかい乾いた布で乾拭きしてください。
- ボード間の目地は、ゴミや油がつきやすいので、こまめに汚れを拭き取ってください。

9. アクセサリーパーツのご案内

9.1. シンクアクセサリーパーツ

シンク周りをより使い勝手よくお使いいただけるアクセサリーパーツです。シンク形状により対応しているパーツが異なります。よくご確認の上、ご利用ください。

● 使用上の注意

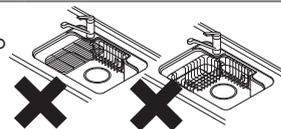
● サポートプレート、水切りバスケット（オプション）



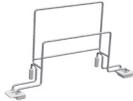
禁止

シンクにしっかり載せて使う。横にスライドさせない。

落下する恐れがあります。



ステンレスシンク用アクセサリーパーツ

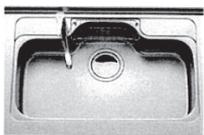
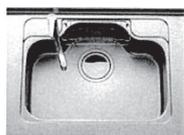
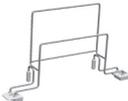
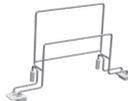
お使いのシンク		ステンレスシンク	
		TGシンク  W82×D48.5×H18.3cm	TUシンク  W65×D48.5×H18.3cm
付属品	洗剤バスケット	 品番:KAP-SP7 サイズ:W32.5×D10.5×H12.8cm	
	排水プレート	 樹脂製 品番:KAP-HP2 サイズ:Φ14.4cm	
	浅型カゴ	広く浅い形状のカゴのため、ゴミをさっと捨てることのできるうえ、お手入れも楽です。  樹脂製 品番:KAP-H7 サイズ:Φ14.4×4.7cm	
オプション	サポートプレート メッシュタイプ	 品番:ZKPPVN-K サイズ:W20.3×D42.3×H1.4cm	
	まな板ラック まな板スタンド	※コーリアン®ワークトップ用  品番:ZKPBNN-K サイズ:W20×D4.5×H20.9cm  品番:ZKPATN-E サイズ:W32.8×D5.5×H18.2cm  品番:ZKPCTN-E サイズ:W32.8×D5.5×H18.2cm	
	水切りバスケット	 品番:ZKPNYN-K サイズ:W20.1×D42.3×H13cm	
	止水フタ	汚れた食器や調理道具のつけ置き洗いをする際など、シンク全体に水をためたいときに使用します。  品番:F-2 サイズ:Φ15.9cm	
	排水プレート	樹脂製の排水プレートのヌメリなどが気になる場合に、取り替えてご使用ください。  ヌメリにくい ステンレス製 品番:KAP-HP10 サイズ:Φ14.4cm	
	浅型カゴ	樹脂製の浅型カゴのヌメリなどが気になる場合に、取り替えてご使用ください。  ヌメリにくい ステンレス製 品番:KAP-H8 サイズ:Φ14.4×H4.7cm ※縁は樹脂製	

※アクセサリーパーツをご用命の方は、P.61【ご注文はこちらへ】を参照してください。

9. アクセサリーパーツのご案内

9.1. シンクアクセサリーパーツ

美・サイレントシンク用、人工大理石シンク用アクセサリーパーツ

お使いのシンク		美・サイレントシンク		人工大理石シンク
		EGシンク  W82×D48.5×H18.3cm	EUシンク  W65×D48.5×H18.3cm	AYシンク  W71.1×D44.9×H19.2cm
付属品	洗剤バスケット	 品番:KAP-SP7 サイズ:W32.5×D10.5×H12.8cm	 品番:KAP-SP12 サイズ:W29.4×D8.6×H7.5cm	
	排水プレート	 ヌメリにくい ステンレス製 品番:KAP-HP10 サイズ:Φ14.4cm	 品番:KAP-HP13N(ホワイト(N)) KAP-HP13R(モカ(R)) サイズ:W18.2×D18.2cm	
	浅型カゴ	 ヌメリにくい ステンレス製 ※縁は樹脂製 品番:KAP-H8 サイズ:Φ14.4×H4.7cm	 樹脂製 品番:KAP-H7 サイズ:Φ14.4×4.7cm	
オプション	サポートプレート メッシュタイプ	 品番:ZKKPVN-K サイズ:W20.3×D42.3×H1.4cm		 品番:ZKKPWN-K サイズ:W20.3×D37.8×H2.6cm
	まな板ラック まな板スタンド	 品番:ZKPBNN-K サイズ:W20×D4.5×H20.9cm	 品番:ZKPATN-E サイズ:W32.8×D5.5×H18.2cm	※コーリアン®ワークトップ用  品番:ZKPCTN-E サイズ:W32.8×D5.5×H18.2cm
	水切りバスケット	 品番:ZKPNYN-K サイズ:W20.1×D42.3×H13cm		
	止水フタ	汚れた食器や調理道具のつけ置き 洗いをする際など、シンク全体に水 をためたいときに使用します。  品番:F-2 サイズ:Φ15.9cm		
	浅型カゴ			 ヌメリにくい ステンレス製 ※縁は樹脂製 品番:KAP-H8 サイズ:Φ14.4×H4.7cm

※アクセサリーパーツをご用命の方は、P.61【ご注文はこちらへ】を参照してください。

9. アクセサリーパーツのご案内

9.2. 引出しオプションパーツ

クロスギャラリー

両サイドのギャラリーにはめ込んで使う仕切り材です。

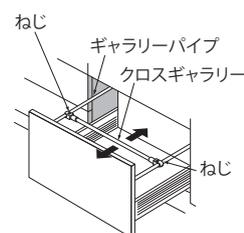
レール	対応キャビネット	間口	品番
サイレントレール	見切り材・インセットパネル付キャビネット用	75 cm	ZKH075DN-K
		90 cm	ZKH090DN-K
		105 cm	ZKH105DN-K
	見切り材・インセットパネルなしキャビネット用	30 cm	ZKH030CN-K
		45 cm	ZKH045CN-K
		60 cm	ZKH060CN-K
		75 cm	ZKH075CN-K
		90 cm	ZKH090CN-K
		105 cm	ZKH105CN-K



クロスギャラリー



使用例



図は、サイレントレールの場合。

※取付位置を調整する場合は、⊕ドライバーで両端の樹脂部にあるねじをゆるめてください。動かした後、ねじを締め直してください。

引出し仕切り部材（2個セット）

引出しの間口を収納物のサイズに合わせて分割できるので、小さな収納物も引出し内で散らばりません。

対応キャビネット	品番
フラット対面 ダイニング側引出し用	KAP-HASW27
奥行き45cm浅引出し用	KAP-HASW35



引出し仕切り部材



使用例

引出しトレイ（ベースキャビネット用）

●奥行き 45cm用

間口	品番
45 cm	ZKH045FB-K
60 cm	ZKH060FB-K
75 cm	ZKH075FB-K
90 cm	ZKH090FB-K



引出しトレイ

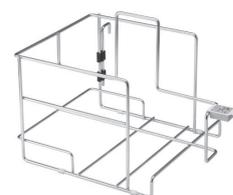


使用例

フライパンラック

コンロキャビネットの引出しに設置すれば、フライパンを立てて収納できます。

サイズ	品番
W32.3×D24.6×H25.8 cm	ZKHGNN-K



フライパンラック



使用例

※キッチン高さ 80cmの場合は、収納できるフライパンサイズが異なります。

※アクセサリパーツをご用命の方は、P.61【ご注文はこちらへ】を参照してください。

9.3. 便利アイテム

● ライン取っ手用タオル掛け

ライン取っ手に取り付けられ、お好みの位置にタオルを掛けることができます。

対応している取っ手の種類		品番	色
スライド 引出し	シルバー	ZKHTKN-K	バー部：シルバー 樹脂部：ライトグレー
	ブラック	ZKHTKB-K	バー部：ブラック 樹脂部：ブラック
開き扉	シルバー	ZKHTEN-K	バー部：シルバー 樹脂部：ライトグレー
	ブラック	ZKHTEB-K	バー部：ブラック 樹脂部：ブラック



スライド引出し用



使用例



開き扉用



使用例

※タオル掛けを取っ手代わりに引っ張らないでください。

● ライザー

間口 45cm以上、引出し奥行き 40cm以上のフットエリア
収納に収納できます。

容量：約 11kg 付属品：計量カップ (180cc)

品番：ZKCFNN-K



フットエリア収納用
ライザー



使用例

※アクセサリーパーツをご用命の方は、P.61【ご注文はこちらへ】を参照してください。

● ハンドムーブ用オプション

ハンドムーブに設置すれば、調理道具や食器等を収納するのに便利です。

● 収納タイプ用

サポートラック

調味料ポット（高さ 12cmまで）などを収納できます。
最大収納量は約 3kgです。
品番：ZKMKNN-K



サポートラック



使用例

ペーパーラック

キッチンペーパー（直径 12cm×長さ 27cmまで）を立てて収納しながらお使いいただけます。
品番：ZKMJNN-K



ペーパーラック



使用例

● 水切りタイプ用

皿立てラック

中皿、大皿（直径 23cm、11 枚まで）を収納できます。
品番：ZKMSNN-K



皿立てラック



使用例

レードルラック

レードル類（長さ 31cmまで）を掛けて収納できます。
品番：ZKMENN-K



レードルラック



使用例

まな板ラック

まな板（47cm×23cmまで）を収納できます。
品番：ZKMMNN-K



まな板ラック



使用例

カトラリーラック

箸やカトラリー類（長さ 30cmまで）を収納できます。
品番：ZKMCNN-K



カトラリーラック



使用例

ご注文はこちらへ。

クリナップオンラインショッピング

<https://style.cleanup.jp/>

クリナップオンライン



- 商品仕様、価格および諸費用を予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 予告なく廃番・製造中止等により供給できない場合があります。

10. こんなときは

10.1. Q & A

Q. 排水の流れが悪いです。

- A. 次の点をご確認ください。
- ・シンクの浅型カゴにゴミがたまっていますか？
 - ・シンクの排水口周りが汚れていませんか？お手入れについては以下のページを参照してください。
参照 部品ごとのお手入れ方法 P.26～27
 - ・排水管が汚れていませんか？集合住宅などで行う排水管洗浄については以下のページを参照してください。
参照 集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点 P.27

Q. 排水口が臭います。

- A. 防臭器が汚れていませんか？お手入れについては以下のページを参照してください。
参照 部品ごとのお手入れ方法 P.26～27

Q. 排水口から「ゴボゴボ」音がします。

- A. 流れる水の量が多いと、空気を巻き込んで音がすることがあります。
異常ではありません。

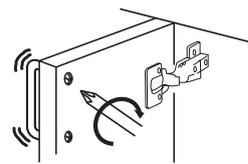
Q. 開き扉がガタつきます。

- A. 取っ手、または丁番や座を取り付けているねじがゆるんでいませんか？ねじがゆるんでいる場合は、⊕ドライバーで締め直してください。

Q. 引出しがきちんと閉まりません。

- A. 隣接するキャビネットの引出し前板が当たっている場合は、引出し前板を調整してください。

参照 前板の調整のしかた P.42～43

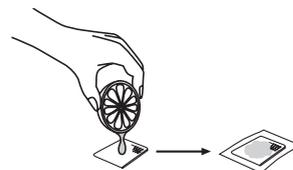


Q. 害虫（ゴキブリ）が入ってきます。

- A. ゴキブリは小さなすき間でも侵入できます。虫が好む環境（暗部、湿気、食べ物）をなるべくなくしましょう。
- ・食器などは水滴を拭き取ってから収納する。
 - ・開封した食品は樹脂容器などに入れる。
 - ・ときどき、扉を開放して換気する。

Q. ステンレスにもらいサビしてしまったらどうしたらいいですか？

- A. ①さびた部分に小さく折りたたんだキッチンペーパーを載せて、その上からレモン汁を十分に含ませます。
②レモン汁が蒸発しないように、ラップフィルムを掛けて放置します。軽いサビなら1日程度で除去できます。



Q. ステンレスに落ちにくい汚れ（水あかなど）がついてしまったらどうしたらいいですか？

- A. お手入れについては以下のページを参照してください。

参照 お手入れ方法と洗浄具・洗剤 P.20～21

Q. コンロやレンジフードなどのお手入れ方法が知りたいです。

- A. 機器関連商品については、それぞれ別冊の取扱説明書をご覧ください。

Q. シンクやカウンターの裏面が結露をおこしてキャビネット内に水滴が落ちてしまいます。また、キャビネット内やカウンター裏面にカビも発生しています。何か対策はありますか？

- A. シンクやカウンター裏面の結露は、室内が高温多湿の状態、冷たい水によりシンク表面が冷やされ、空気中の水蒸気が付着する現象です。ぬれた部分やカビは拭き取り、キャビネット内の換気、市販の除湿剤を用いて湿気の除去を行ってください。

保証書

◎ キッチン用

シリーズ・品番		ラクエラ	出張修理	
保証期間		取付・設置日から2年間	★取付・設置日	年 月 日
★お客様	ご住所	見本 ()		
	お名前			
★販売店	住所 店名	TEL ()	① またはサイン	

無料修理規定

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
- 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や、改造による故障および損傷。
- (2) 消耗部品(照明の管球、グローランプ、パッキンなど)の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。
- (3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障および損傷。
- (5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。
- (6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
- (7) 瑕疵によらない自然の損耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。
- (8) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。
例えば、塩素系の洗剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用によるシンク、カウンターのサビや腐食。
- (9) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。
例えば、ハウスクリーニング業者が指定の洗剤以外のクリーニング剤を使用してシンク、カウンター、扉などに変色や腐食が生じた場合、また、禁止されている方法で洗浄剤などを噴霧あるいは塗布したことによって機器の作動不良が生じた場合。
ならびに、浄化槽や洗浄剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食。
- (10) タバコの火、商品を傷める薬品(有機溶剤、塩素系洗剤、強酸、強アルカリ性洗剤など)の使用により、発生した損傷。
- (11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。
- (12) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。
- (13) 建築躯体の変形(強度不足、ゆがみ)など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。
- (14) 異常電圧や指定外の燃料・電源(電圧・周波数)の使用および異常水質による故障および損傷。
- (15) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
- (16) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
- (17) 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。
- (18) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。
- (19) 本保証書のご提示がない場合。
- (20) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合(領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません)、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (21) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録(年月日、修理内容、修理者名など)については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

ご相談窓口：クリナップカスタマーセンター TEL 0120-126-174

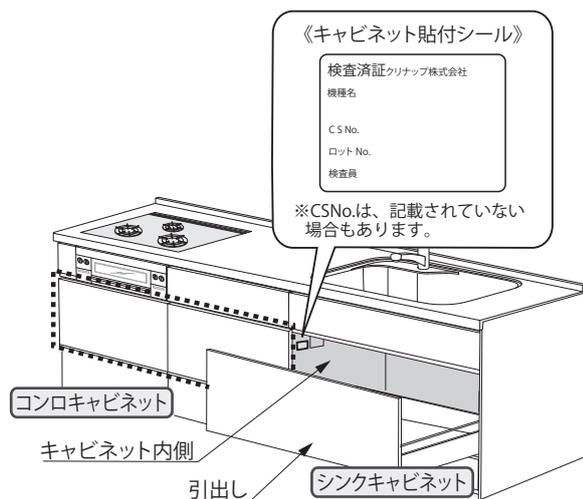
クリナップ株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22

修理の依頼について

この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検して異常のあるときは、工事店・販売店、または下記のクリナップカスタマーセンターまでご依頼ください。

また連絡する際は、お名前、ご住所、お電話番号、ご購入年月日、症状およびシンクキャビネット引出しを開け、内部をご確認いただき、貼付してある検査済証の機種名・CSNo.・ロット No. もあわせてお知らせください(シンクキャビネットで確認できない場合は、下図の[]のコンロキャビネットなど、ほかのキャビネットの内側でも確認できます)。



《お客様メモ》アフターサービスのご連絡に便利です。

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	☎

廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

アフターサービスのご用命

- ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

- お電話でのご用命

☎0120-126-174

クリナップカスタマーセンター

通話料
無料

- インターネット窓口(クリナップホームページ内)

<https://cleanup.jp/support/>

☞ 右の2次元コードで[お客様サポートサイト]へ



受付時間 9:00～17:00

- *9:00～11:00および12:00～13:00は混みあいます。
- *年末年始はお休みさせていただきます。
- *諸般の事情により営業日、受付時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- *インターネット窓口では、Q&A(よくあるご質問)をご紹介します。
- 修理、お問い合わせは専用ページでも受付しております。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<https://cleanup.jp/>に公表しております。

レンジフードフィルターなどの 訪問販売に関するご注意

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

クリナップ株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22